

(1)

小田高同窓会 会報『八幡山』第32号

令和2年12月10日



創立明治33年(1900)  
開校明治34年(1901)  
神奈川県第二中学校



第32号

神奈川県立小田原高等学校  
同窓会 楸友会

発行者 会長 吉川伸治  
編集者 広報委員会  
委員長 原田泰隆

住所 〒250-0045  
小田原市城山3-26-1  
電話・FAX 0465-20-3281  
メールアドレス  
kenyukai@odako.org

題字:大島修穂(雅文)さん(高32) 背景:桜林と上庭の写真



作成されなかつたポスターの原画



創立百二十周年記念品トートバッグ



小田高同窓会 楸友会ホームページ  
<https://odako.org>

小田原高校公式ホームページ  
<http://www.odawara-h.pen-kanagawa.ed.jp>

# 祝母校創立 百二十周年



記念事業実行委員長  
吉川伸治(高23)

た形にせざるを得なくなりました。どうぞこの点は、ご理解を賜りたく存じます。

田高ホームカミングデー」の実施、さらには小田高自然環境フォーラム、あるいは樺友ウォーク、そして何と言いいは

小田原高校中等教育史料館  
オープニングセレモニー

私は今年5月に小田原高等学校同窓会権友会の会長に就任いたしました高校23回卒業の吉川伸治と申します。今回、創立百二十周年記念事業実行委員会の委員長も務めさせていただいています。記念式典の開催にあたりまして一言ご挨拶を申し上げます。

最初に、記念式典の在り方についてご報告申し上げます。記念式典は一昨年、実行委員会を学校、PTA、同窓会により設置いたしまして、鋭意検討し、準備を進めてまいりました。しかしながら、今年に入りまして、新型コロナウイルスの感染拡大ということでの経済の制約、あるいは日常生活の制約等々、こうした感染をいかに御するかこれが大きな課題となりました。そうした中で、いくつか予定していました記念事業を中止せざるを得ない状況になりました。何と言いましても、3つの密、密集、密閉、密接、こうしたことをどの様に回避するか、これが大きくな課題です。したがいまして、記念式典もみなさんが集まつていただくことが本来の姿ですけれども、そうではなくて、ウェブ上で発信をするこういった

普上でやつていただきました。改めて感謝を申し上げたいと思います。

さて、小田原高校は、1900年の4月25日、当時の神奈川県第二中学校として設置認可を受けました。以来百二十年という歴史と伝統を築いていただいた教職員のみなさん方、そして卒業生のみなさん方、さらには保護者のみなさんは、大変敬意を表するとともに、感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございます。

最近の状況におきましては、平成16年度に小田原城内高校との統合、そして同時に単位制普通科という新しい特色ある教育のスタート、さらには平成19年には校舎の全面建て替え、落成といつた大きな変革を経て、今日に至っています。特にこの間に携われた方々には労いの言葉をかけたいと思います。本当にご苦労様でした。そしてありがとうございました。

一方で、同窓会の活動でございますが、同窓会は会員相互の親睦、母校の発展、そして社会への貢献という大きな目的のもとに、さまざまな活動をしてまいりました。とりわけ桜友祭(小

話をお聞きすることで、なかなか学校教育では得られない機会をつくることによって、幅広い人材が育つていただきたい。このような思いからそうした努力もしたところでございます。これは今後も必要だと思っております。その意味では、学校といっしょになつて、そしてまた窓梅会という小田原城内高校の同窓会ともいっしょになって、学校では得られない体験なり経験なりを同窓会としてはぜひ強化してまいりたい、と思います。

A black and white photograph showing four men in business attire standing behind a long, thin ribbon. Each man is holding a pair of ceremonial scissors and has a small bouquet of flowers pinned to his left lapel. They appear to be at a formal event, possibly a grand opening or inauguration.

創立百二十周年記念  
 小田原高校中等教育史料館 

～明治以降の中等教育史料を展示しています～

明治時代、神奈川県には県立第一中学校（現在は国語・高橋）、第二中学校（本校）、第三中学校（園田高橋）、第四中学校（横須賀高橋）及び私立中学校成徳中学校（横須賀市成徳町・高橋）がありました。大正時代まで中学校が正式に設置されました後は、開港大震災、太平洋戦争、松平企画園地などにより多くの歴史が失われました。本校は先人たちのおかげで、貴重なままの史料が今日まで残り繋がれ、現在では本校だけが明治以前の中等教育資料を多く持つ一校となっていました。今後も日々上

本校は数少ない例の一つです。

創立百周年記念事業として平成16年（2004年）、南館3階に校史展示室を開設しました。平成19年の第5回校舎落成に伴い、南館改修工事が行われ、平成20年に教材展示室と図書展示室を設置し、平成28年（2016年）に校史展示室の隣に教材展示室を、令和元年（2019年）にその隣に図書展示室を開設しました。曾澤一郎・岸谷、平成26年に本校と西蔵会が締結した協定書により、本校が西蔵会に委託し同蔵会が行っています。

今朝20年の創立百二十周年を記念し、3つの展示室を、相互に連関しつつ全体を形する複合施設として「小田原高等学校等教育史料館」と命名しました。初等教育から高等教育への過程にある中等教育の史料を、明治から現在まで120年にわたり展示しています。生徒、教職員、保護者、卒業生、地域社会のみなさまに本校の歴史と伝統を理解いただくとともに、明治以降の中等教育の豊かな歴史を感じただけたら幸

看板は、塩化ビニールシートに文字をプリントした。パネル木枠に貼り込んだもので、業者は(有)鳳文堂、代表取締役社長門松孝幸(高22)である。当午前9時から校史展示室と教展示室のドアの間の壁面に設した。

ト者を日材置廊立会本A淵淵は、まず、史料委員会の石井敬士副委員長（高11）が史料館について設置の意義を中心に紹介した。次いで、林校長と岩淵生徒会長吉川実行委員長、小林PTA会長が紅白テープの所定の位置に並び、司会者の「小田原高校中等教育史料館のオープンです。どうぞ！」の発声とともにテープをカットすると、出席者一同が拍手を送った。その後、出席者が史料館を見学し、校史ガイドが展示品を説明した。

創立百一十周年記念事業の環として、南館3階にある校展示室、教材展示室、図書展示室をまとめて「小田原高校教育史料館」と命名し、9月日(土)にその看板の設置とオブニングセレモニーを実施し

晃会長、創立百二十周年記念事業実行委員会の方々、同窓会の津田憲一郎前会長（高20）、同窓会史料委員、校史ガイドなどである。出席者全員へ史料館パンフレット、記念クリアファイル、「卒業生の活躍—経済界篇、等。

小田原高校中等教育史料館

## 一 設置とその意義



史料委員會副委員長  
石井 敬士

一

(一) 県内外における中等教育史料の現状  
神奈川県内の県立高校の中等教育史料については、横浜平沼高校歴史資料展示室、横須賀高校校史資料室、横浜緑ヶ丘高校・牧陵校史資料室、湘南高校歴史館などで史料の収集、保存が行われ、また、企画展示その他により活用が図られているが、未だ少数の状態である。

全国的にみても少数であり、都立日比谷高校創立百周年記念資料館、学習院高等科ミュージアム、北海道札幌南高校六華同窓会史料館、新潟県立長岡高校記念資料館、大阪府立岸和田高校教育コレクション、など

の活動が注目されるところである。

## ①史料の収集・保管・保存

三室の整備等については、百周年を契機として行われたのであるが、最も肝要なことは、言うまでもなく、明治の開校以降の史料が関東大震災や第二次世界大戦等の幾多の災厄を

二 小田原高校創立前史

三 小田原高校の沿革

### 三 小田原高校の沿革

一) 蕃校集或館

小田原藩は大久保氏11万3千石、

経て保存してきたことにある。これは県内の他校が史料を多く散逸してしまっている状況からみて、本校の教職員がいかに銳意努力されてきたかということでその努力に感謝し

て東海道の要所となつていたが、藩校集成館の設置は大久保忠真（二宮尊徳を後援）が藩主の文政5年（1822）のことであった。

優れた人物を輩出することとなつた  
以下、略述する。

優れた人物を輩出することとなつた以下、略述する。

吉田校長は4年弱であったが、二代目の阿部宗孝校長は17年余在職され、吉田校長の築かれた校風を受け継ぎ、「至誠無息」「堅忍不拔」の校訓を制定するなど本校の土台を確立された。以降歴代校長は中学時代から、昭和23年の新制高等学校への移行、男女共学、平成16年の小田原城内高校との再編統合等、鋭意努力され、教職員の方々と共に今日の本校の活躍に多大な貢献をされた。

また、教職員についても、初期の小林好日先生、武田祐吉先生などをはじめとし、優れた先生を輩出した。関院宮春仁王のご入学については他に類例のないことで、貴重な事例となつた。

四 小田原高校中等教育史料館

創立百周年記念事業として、平成16年（2004）、南館3階に開設した。校宝（乃木將軍の開校祝賀の手紙、閑院宮載仁・春仁王関係史料、横山大観の「初秋黎明の富嶽」など）と創立前史から現在までの通史展示を中心とした企画展を開催している。昨年度と本年度の企画展は「旧制小田原中学をめぐる文学史」（川崎長太郎の退学者たち）として、川崎長太郎の退学に因む始末書等、初公開となる史料を含め、貴重史料を展示している。

平成28年（2016）に校史展示室の隣に開設した。神奈川県第二中学校以来の各教科の教科書、生徒ノートや教材として使用された物理化学の実験機器、地理歴史の掛図・模型、博物の剥製標本・鉱物標本などを展示している。

令和元年に教材展示室の隣に開設した。開校以来の教師の教授用参考書や生徒の学習図書として使用した和漢書2,216冊、洋装本約2万冊を展示している。内容的には日本書や中国の思想・道徳・歴史・文学に関するものが主となっている。特に江戸期の和書が多くあり、希少価値のある「大和物語」二巻（江戸初期刊、古活字本）などが含まれている。

本史料館は小田原高校創立百周年を記念して設置された「校史展示室」に、「教材展示室」、「図書展示室」を順次整備して、三室を一體的に運用して、教育史料館としての役割・機能を全うしようとするものである。運営は平成26年の学校との協定により、同窓会が学校から委託され行つておらず、設置場所は南館3階



明治34年  
開校式記念品の杯



明治34年度  
受持学科試業採点表



②教材展示室



明治35年 漢文教科書



③図書展示室



江戸時代の和漢書



神奈川県立第二中学校の蔵書

(一)概要  
①校史展示室

開校式記念品の杯や明治34年度受持学科試業採点表などは、本県中等教育黎明期の史料である。

また、所蔵の剥製標本（トキやキタキなど）や鉱物標本などの中に学問的に貴重な史料が含まれている。

とし、同窓会史料委員会が実務を担当している。  
本史料館は令和2年9月5日（土）にオープン、事業を開始した。

## 五まとめ

(一)展開－教育史への活用  
①史料館のPR

事業を遂行する一方で、PRを進める必要がある。県内唯一の施設とや現在では入手困難な「ブリタニカ百科事典9版」や幕末明治期刊行の洋書類をも展示している。

なお、明治34年開設の神奈川県第二中学校書籍室（しょじやくしつ）は小田原で最も古い図書室となっている。

また、開校当初の図書250余冊の存在、その意義、役割、機能等について周知するよう努め、また、県立総合教育センターや他校との連携等も積極的に進めていきたい。

(二)利用機会の拡大  
ア 受け入れ態勢の整備

史料館の史料や機能を熟知した担当者を養成し、利用者からの質問等へ適宜対応できるようにする。

イ 開館日・開館時間等のPR

本館の利用については、常時は当面困難なので、公開日の増加や個人や団体からの予約、あるいは同窓会役員在館の機会を最大限活用していただきよう周知していきたい。

ウ 史料目録の整備やデータ通信等

今後、順次作成・整備に努めていきたい。

(三)教育史への活用  
ア 中等教育史料として

中等教育の歴史的変遷、指導内容、生徒の授業への対応、あるいは教師の参考史料や教育と結びつく一般史

料などを、具体的にみて比較検討ができる。

#### イ 学校史の編纂

本校は百二十年史を編纂しているが、各学校でも八十年史、百年史等、記念史の編纂が進められている。この時の史料については自校史料が中心となるのは当然であるが、関連的に県内の中等教育の状況について具体的に参考し活用できる。

#### ウ 教育史の教授用として

中等教育史の講義へ隨時活用することにより、内容をより具体的に理解可能にする。

#### エ 企画展示等への活用

来館者に対してだけでなく、史料の貸し出し、目録やデータの提供等により各校の企画行事へ寄与できる。

#### オ 教育史における中等教育理解のための研修

県立総合研究センター等と連携し、中等教育の意義・役割等を理解してもらうため、本館を具体的な研修の場として、史料を基に研修する。

#### (二)課題

##### ①公文書保存の理解

本史料館を構成する史料は印刷された刊行物、公文書、標本・剥製・掛け他の実物、絵画・写真等多くの形態の史料からなりたっている。このうちで自治体の文書である公文書については、現在、国会で問題になっているように、未整備な状況にある。県内の各自治体についても同様であり、基礎となる公文書館については、

県立以外、数市町村が設置しているだけである。

さて、県立高校の公文書については、人権や個人情報を関連するところから短期間の保存後廃棄される。この現状からすると当該高校の校史資料を後世に残すことができず、過去の中等教育の歴史はより判然としなくなる。教育の根幹たる校史や教育史を学ぶことは極めて重要なことであり、そのために必要な公文書の保存・活用は強く望まれるところである。学校側等の理解・対応に大いに期待するところである。

#### ②その他

##### ア 史料面について

史料の継続的な収集・整理・保存・活用を図る。また、本館史料から文献検索等ができるよう整備に努める。

##### イ 運営面について

史料館の利用が要望に応じて絶えず対応できるよう、必要な人員の養成や運営面の充実を図っていきたい。

##### ウ 高校資料室等との広域連携について

貴重な史料を活用して中等教育の変遷等について、県内全域で、百年史等の変遷や企画展示等への利用、さらには、校史教育等の研修への有効活用等に努めたい。

#### ◆オートファジーの基礎知識

まず、オートファジーといえば、2016年に、大隅良典先生がノーベル生理学・医学賞を受賞されたことで一般の方にも知られるようなった生命現象です。



今回、皆さんにお話ししたいことは、自分が面白いと思う研究をする大切さです。役に立つか、利益が得られるか、といったことは縛られず、純粹に自分の興味や好奇心に突き動かされてするような研究の大切さです。その具体的な例として、オートファジーの研究の発展の経緯をお話ししたいと思います。そのあと、こういった研究を担う大学での研究について、大学教員の仕事についてお話ししたいと思います。



**自分があつまつと思う研究をしよう！**  
東京工業大学 生命理工学院 准教授 中戸川 仁（高45）

私は2004年に大隅先生の研究室でオートファジーの研究を始めてから、2017年に独立して、今までオートファジーの研究を続けています。

オートファジーの進行過程の話になりますが、まず、この水色の四角が細胞だと思ってもらつてください。オートファジーというのは私たちのからだを作っている細胞一つ一つの中で起こる現象です。オートファジーは様々な状況の変化に応じて起こりますが、オートファジーが起こると、まず、軟式のテニス

しく実行することで、様々な生命活動が営まれています。したがって、これら分子の量や質を適切にコントロールすることが、この細胞、ひいては細胞からなる私たち個体の健康や長寿には必須になるということになります。

基礎知識の最後ですが、みなさん、ちのからだはおよそ60兆個の細胞と呼ばれる非常に小さな水風船のようにものが集まってできています。私たちのようにたくさんの細胞からできている生物もいれば、酵母のような1つの細胞で存在している単細胞生物もあります。

DNAあるいは遺伝子というものは生みの設計図だということを聞いたことがあります。このタンパク質が様々な生物とがあるかもしれません、もっと具体的にいうと、タンパク質の設計図です。このタンパク質が様々な生物命現象を引き起こす実働部隊として命現象を引き起こす実働部隊として働いてくれています。オートファジーも生命現象の一つですので、決して例外ではなく、様々な遺伝子、タンパク質の働きで起きています。

オートは自分、ファジーは食べる、という意味のギリシャ語に由来する意味の造語で、日本語にすると自食作用、となります。オートファジーとは、細胞が自分で自分の一部を食べる、すなわち分解する現象のことです。じゃあ、細胞はどうやって自分で自分の一部を食べるのか。

オートファジーの進行過程の話になりますが、まず、この水色の四角が細胞だと思つてもらつてください。オートファジーというのは私たちのからだを作っている細胞一つ一つの中で起こる現象です。オート



◆ノーベル賞受賞へつながる研究

オートファジーの研究発展の方針は酵母という微生物が握っていました。オートファジーという現象は歐米の研究者が1960年代にマウスやラットの細胞で、電子顕微鏡を用いて発見した現象ですが、当時はまだ動物の細胞を扱う技術が発達していないかったこともあり、オートファジーがどんな役割を果たしているのか、オートファジーがどのような分子機構、どのような仕組みで起ころるのか、もまったく不明のまま30年近くも研究は進展しませんでした。なぜかというと、オートファジーにかかる遺伝子がずっとわからないままだったからです。

別の言い方をすると、もし、オートファジーに必要な遺伝子がわかつたら、その遺伝子を破壊して、オートファジーが起こらなくなつた細胞や生物を作り出すことができますので、その細胞や生物に生じる異常を解析することで、オートファジーが起ころる仕組みは、オートファジー何をしてくれていたかを理解することができます。また、オートファジーが必要な遺伝子から作られるタンパ



ク質がどのように働くかを解析していくことで理解することができます。なので、オートファジーにかかる遺伝子がわからないと何も始められない、ということになります。

そんな状況の中で、大隅先生は酵母でもオートファジーが起こることを発見します。じゃあ大隅先生はどうやって酵母でオートファジーが起ることを発見したのか。

それはまったくの偶然でした。当時大隅先生は、オートファジーではなく、酵母の細胞の中にある液胞と呼ばれる部分の役割に興味を持っていました。こちらは顕微鏡の写真ですが、酵母は卵のようなかたちでした単細胞生物です。芽を出して増えていくタイプの酵母なので、出芽酵母と呼ばれています。

母細胞とだいぶ大きくなつた娘細胞があります。この各細胞中の白く抜けた部分が液胞です。このように細胞の中で結構な体積を占めているにも関わらず、液胞にはどんな役割があるのか、当時はわかつていませんでした。

また多くの研究者は、液胞は單なるごみ溜めのようなものだとうといふことであまり興味を持つていませんでした。大隅先生は世間の流行りとは無関係に、自分が興味を持ったこの液胞の研究を始めました。その当時、液胞の中にはたくさんの分解酵素が含まれていることがわかつていたのですが、じゃあ細胞は分解したいものをどうやってこの液胞の中

◆大隅先生の取り組み

◆大隅先生の取り組み

具体的に大隅先生がどのようなことを考えたか、ですが、まず、液胞というものは顕微鏡で簡単に観察できるので、液胞の中に何かが運ばれてきたら顕微鏡で見えるんじゃないかな。でも、何か工夫をしなければ、運ばれてきたものはすぐ分解されてしまって見えないかもしれない、よしとなら液胞の中の分解酵素がおかしくなった酵母、なにかの機能がおかしくなった生物を変異体といいますが、このような酵母の変異体を使えば、液胞の中に運ばれてきたものが分解されずにたまつて見えるかもしない、と考えたわけです。

大隅先生はさらにもう一工夫しました。私たちが使っている酵母は栄養飢餓状態になると胞子という特殊な形態に変化します。このとき細胞の中身も大きく変化します。中身を大きく入れ替えようと思ったら新しいものを作るとともに、元々あったものを大規模に分解する必要があるだろう、ということで、大隅先生は、酵母が胞子を作るとき、すなわち、飢餓条件では液胞での分解も活発化させるのではないかと考えました。これをさきほどの分解酵素の変異体を使うというアイディアと組み合わせて、分解酵素を欠損した酵母を飢餓にさらせば、液胞の中に入ってきたものをたくさん観察で運ばれてきたものをたくさん観察で



◆ひたすら観察  
酵母を使った研究の強みは、酵母という生物はある生命現象がおかしくなった変異体を動物や植物よりもはるかに簡単に得られるところです。酵母でオートファジーが起こることを発見した大隅先生たちは、すぐさまオートファジーを起こせない酵母変異体の単離に乗り出しました。どうやったかというとここでのアプローチもいたってシンプルです。薬剤をつかつて酵母のいろいろな遺伝子にランダムに傷をつけたあと、それをひたすら観察して、さきほどの液胞内をうごめく球体、オートファジックボディが見えない酵母を顕微鏡で探しました。5千個の酵母を観察してやつと1つ、オートファジーが起こらない酵母を見つけることに成功しました。

普通の酵母ではオートファジックボディが観察されますが、単離した変異体ではオートファジックボディはまったく見えません。この変異体はオートファジーに必要な遺伝子に変異、傷が入ったためこうなったわけですので、オートファジーに必要な遺伝子に世界で初めてたどり着いた瞬間です。ただ、大隅先生たちはここで満足することはありませんでした。というのもオートファジーのような複雑な現象をたった1つの遺伝子で起こせるはずがないからです。オートファジーにかかる遺伝子はもっとあるはず、ということで、探索を再開するわけですが、普通、5千個も観察してやっと1個しかみつからないようなことはもう嫌ですよね。

そこでもう一工夫です。1つとれたオートファジー変異体を解析していくと、オートファジー変異体は飢餓にさらすと普通の酵母より早く死んでしまうことがわかつたので、これを利用しようということです。

最初に3万8千の酵母の変異体を用意して、まずこの中から飢餓で死にやすい変異体を選抜しました。この方法は簡単で、培地にある試薬を混ぜておけば、死んだ酵母がピンクに染まるのでそれを選ぶだけです。そうすると3万8千のうち2千7百が飢餓で死にやすい変異体でした。この2千7百にはオートファジーが起こせない酵母が濃縮されてしまうのです。そう思えばモチベーションはあります。

ションも上がります。この2千7百個については先ほどと同様に1つずつ顕微鏡で観察してこんどはなんと99個もオートファジーが起こらない変異体を見つけることに成功しました。さきほどは5千個で1個だったのでは2百倍近く効率が上がったことになります。

これらの酵母の変異体では、オートファジーに必要な遺伝子に変異が入っているはずなので、どの遺伝子に変異が入っているかを突き止めればそれがオートファジーに必要な遺伝子だということになります。

実際に大隅先生たちは自分たちで単離したオートファジーの変異体を解析して、ここに挙げた14ものオートファジー関連遺伝子、ATG遺伝子を発見しました。遺伝子というのはいったんある生物で見つけてしまえば、他の生物にもあるかどうかはその遺伝子の情報を比較する様にして検索をかけるだけで簡単に見つかります。大隅先生たちが酵母で見つけたこれらの遺伝子は、すぐに私たちヒトを含めた哺乳類にもあることがわかりました。ここには書いていませんが、植物にもオートファジーの遺伝子はあります。

### ◆世界中の研究者が一斉解析を

これによつて世界中の研究者たちが、それぞれが研究している生物でオートファジーの遺伝子を破壊してどういった異常が生じるのかを一斉に解析し始めました。そうして、最初の方でお話ししたような、こうし

たオートファジーの生理的役割で、あつたり、疾患との関連であつたりが一挙に明らかになっていきました。30年近くも眠ったままだったオートファジーの研究が、大隅先生の酵母の研究により目を覚まし、爆発的な発展を遂げたわけです。

オートファジーに必要な遺伝子と、いうのは、オートファジーを引き起しこす実働部隊であるタンパク質の設計図ですので、オートファジーを引き起こすタンパク質も同時に発見しました。大隅先生の専門も私の専門も病気ではなくこちらの分子レベルでの話ですが、これを皆さんに理解してもらおうと思ったら、それこそ今日の何倍も時間が必要になりますので、今回は控えておきますが、オートファジーに必要な遺伝子・タンパク質の発見により、どういう仕組みでオートファジーが起きたのか、その理解も飛躍的に進みました。生命現象が起こるメカニズムを理解することは、その生命現象が関わる疾患の治療法の開発にも不可欠です。

療や予防の可能性も見えてきたということです。もちろん、特定の病気領域が切り拓かれ、様々な疾患の治療の中の研究者を巻き込んで大きな研究に焦点を当ててその治療法を開発するような研究も大変重要です。しながら、このような純粹な好奇心を駆動力とする研究には、想定外の大きな発見につながる可能性があります。研究の本当の面白さはこういうところにあります。最初に設定した目的に縛られない研究というのは、その過程で見つけた小さな発見とともに柔軟かつ大胆に軌道修正をします。また、なんにしてもそうですが、自分が好きなことには時間も苦労も惜しまず没頭できますよね。そういう研究には困難に直面してもそれを突破する力があります。

また、こういった研究はみんなで同じ方向を向いていて意味がないので、それぞれの研究者の独創性が大事になります。

さらに、こういった研究は、何かの基礎や基本原理を明らかにする可能性があるので、その成果は様々な分野に波及して、豊かな広がりをもつた新しい領域を生み出すことにつながります。

そしてもちろん、言うまでもなくどんな応用研究も基礎研究の上にありたっていますので、そういった点でもこうした基礎研究はとても重要です。じゃあ、こういった研究はどう

◆基礎研究を支える研究者が出てきてほしい

是非、皆さんの中からも、大学でこうした日本の基礎研究を支える研究者が出てきてほしいわけですが、たぶん、ほとんどの人は大学でどういったかたちで研究が進められているのか、大学の教員の仕事がどんなものなのか、大学生に講義をしていくくらいしか、イメージがないかもしないので、そのあたりのことを紹介したいと思います。

◆大学教員の仕事

大学教員がどんなことをしているのかですが、もちろんこれは私の場合であって、あくまでも一例ということになりますが、まずは、大学の学部と大学院での講義です。私の場合、生命科学基礎、生物化学、分子生理学といった講義や、生命科学基礎実験などを担当しています。次に、大学の運営に携わることも大事な仕事です。いわゆる教授会やなんらかの委員を担当するなどして、大学の運営にも携わっています。これらの仕事をした上で、残りの時間を研究活動に充てることができます。この教育や大学運営にかかる時間は大学や、所属する学部や、その人の立場によってことなるわけですが、幸い、私の場合は、この研究に関連する活動にそれなりの時間を割くことがで

いうことになります。

研究活動の具体的な内容ですが、まずは自分の研究室での研究の実施です。あとでもう少し具体的に話しますが、研究室での研究の主力は大學生です。学生たちに研究の進め方や問題のとらえ方、考え方などを指導しながら研究を進めます。次に、ラボセミナーですが、研究室での研究進捗状況を報告して、そこから展開について議論したり、他のグループから報告された最新の論文について情報を共有したり議論をしたりします。セミナーは週に2回実施しています。また、研究するには研究費が必要ですので、その申請書を書くことも非常に大事な仕事です。大学での研究は主に、文科省の科学研究費補助金というもので支えられています。他には医療系の研究であれば厚労省や、産業よりの研究であれば経産省から分配される研究費もあります。企業の助成金に申請する場合もあります。あと、最も重要なこととして、得られた成果を論文にまとめます。研究はその成果を世界中の研究者や社会の人々に知つてもらい、様々に活用してもらわなければ単なる道楽、研究費の無駄遣いになってしまいますので、成果を出して発表することは研究者の義務といえます。

論文は、実験のデータを英語でまとめて発表します。今やどこでも同じですが、研究の世界でも昔からですが英語は必須です。他にも、研究の成果は学会でも発表します。

これは昨年の11月に台湾で開催されたオートファジーの国際会議ですが小さくて見えないかもしれません。が、こんな感じで世界中から研究者が集まっています。大隅先生がここにいて、私はこの辺にいます。

学会は日本全国、世界各地で開催されますので、色々なところにいつて世界中の研究者と知り合いになれることも大学の研究者という仕事のとても楽しいところの一つです。今はコロナのせいで国際会議もZoomでの開催になってしまっていますが、早く元の状態に戻ってほしいものです。また、直接会ったことはなくとも、論文を通じて、世界

の中の研究者に自分の研究を知つてもらえることも嬉しいことです。

学会の運営に関わる仕事もあります。また、他の研究者が書いた論文や、研究費の申請書を審査するといふのも大事な仕事です。研究者がお互いにお互いを審査しあうような仕組みになっています。あとは、特に国からの研究費は税金で賄われていますので、自分の研究の大切さをきちんと一般の方にも理解できるように説明する活動、アウトリーチ活動などと呼ばれます。こういったことも大事な仕事になります。

#### ◆大学教員になるまでのプロセス

理系に限定としておきますが、大学教員になるまでのプロセスをまとめてみました。まず、みなさんはこれから大学に進学して卒業すると、学士という学位がもらえます。そこからさらに大学院に進学して、2年間で修士、3年間で博士の学位を得します。この間に、自分で選んだ研究室で自分の興味のある研究に従事しながら、研究者になるために必要な研鑽を積みます。たとえば、専門的な知識や実験技術、研究を進める上で必要なロジック、データの解析や解釈の仕方、論文の書き方や研究費の申請書の作成の仕方、学会でのプレゼンの仕方など、色々あります。最終的には自分自身で新しい面白い研究テーマを考えて、自分で通り研究を進めることができて、その成果を発表できるようになることが目標です。

博士の学位を取った後は、多くの場合、まず博士研究員として、他の大学や研究機関の研究室に籍を移して、さらに経験や知見を広げていきます。それから、大学の助教のポジションを探して、准教授、教授、と進んでいきます。この過程では、各ポジションについて募集が出来ますので、普通の就職活動のように、それに履歴書などを出して応募して、書面審査が通つたら、面接審査、といふようなかたちになっています。その際には、それまでの研究業績や教育経験が評価の対象となります。次のポジションに移るときには、別の大学に移ることも良くあります。で、准教授になったあたりから、研究室あるいは自身のグループを主宰できるようになります。そしてこの自分が研究室というのが自分が本当にやりたい研究をやれる場所、ということになります。

#### ◆研究室の構成

私の研究室を例にして紹介します。まず、准教授が私で、特任助教と秘書、あと研究に関するいろいろなことを支援してくれる技術補佐員が一人ずつ、学生は、博士を目指している博士課程の学生が3名と、修士を目指す修士課程の学生が留学生を含めて7名、あと、最近、うちでは3年生の後期から研究室に出入りするようになりましたが、今年はまだ2名います。私立の大学ではもうと学生が多いと思いますが、国公立

では平均的な規模だと思います。こちらは、今年はコロナのせいで集合できなかったので、Zoomでセミナーをした時の写真です。このメンバーで、オートファジーに関するいろいろな問題に取り組んでいます。合計で16名のうち12名が学生です。大学での研究というのは、研究と教育、後進の育成とが渾然一体となり進められています。ですので、大学での研究は若い力を必要としているのですし、その中から大学で利益な限りでは縛られない独創的な研究を展開する次の世代が育つことが、これから日本の科学のさらなる発展には不可欠です。皆さんの参加を心からお待ちしています。

最後に、今回は科学教育の観点で、開催する次世代が育つことが、これからの日本の科学のさらなる発展に大切な問題です。皆さんの参加を心からお待ちしています。

◆大学での時間を大切に

最後に、今日は科学教育の観点で、このようにこのような話をさせてもらいましたが、科学を志さない人も含めて共通のメッセージということもあります。そこで、大学での時間を大切に!といふ言葉を送りたいと思います。大学に進学すると受験から解放された勢いで、遊びに走ってしまう学生さんも多いですが、まあそれはそれで結構ですが、それでもどこかで、大学時代というのはまとまつた時間を利用に使える最後のチャンスだということを意識して、何に対しても自分で突き詰めて考え、将来を見据えて準備することも忘れないようにしてほしいと思います。



**小田原高校 創立百二十周年記念事業  
神奈川県立小田原高等学校卒業生の活躍**

～経済界篇から～



**福井 康代 氏 (高36)**  
株式会社ナビット  
代表取締役

**梶川 正純 氏 (高30)**

ライオン株式会社  
代表取締役 社長執行役員



研究開発部門で自身のキャリアーをスタートした。自らが開発した素材を使用した商品が世に出たのは入社7年目であった。ごくごく売り上げも小さな商品だったが、店頭でお客様がその商品を購入したのを見にしたときジーンときだつた。今も忘れられない。メーカーでモノ作りすることの醍醐味を知った瞬間です。



**経歴**  
1984年 4月 東京大学農学部卒業  
1984年 4月 ライオン株式会社 入社 (研究開発本部配属)  
2005年 4月 ファブリックケア研究所長  
2008年 1月 ファブリックケア事業部長  
2010年 1月 執行役員ハウスホールド事業本部長  
2012年 1月 取締役ヘルス&ホームケア事業本部長  
2019年 1月 代表取締役社長執行役員

**経歴**  
1979年 4月 東京大学理科2類入学  
1984年 3月 東京大学農学部卒業  
1984年 4月 ライオン株式会社 入社 (研究開発本部配属)  
2005年 4月 ファブリックケア研究所長  
2008年 1月 ファブリックケア事業部長  
2010年 1月 執行役員ハウスホールド事業本部長  
2012年 1月 取締役ヘルス&ホームケア事業本部長  
2019年 1月 代表取締役社長執行役員

**高校時代はどんな学生だった?**  
山岳部に所属し、毎日高校の裏山をロードワークし、週に一度は百段坂を60kgのコンクリートの板を担いで昇り降りしていました。あまり女子にはもてませんでしたが、本人は山男の「美学」に酔っていました。  
**在校生・卒業生(後輩)へのメッセージ**  
今は賢く生きようぜとせず、自分の思いに忠実にがむしゃらにやつた方が良いですよ。若いうちに賢い人は大人になって成長が止まってしまうことが良くあります。

**経歴**  
1995年 4月 慶應義塾大学経済学部入学  
1998年 5月 Macrowill 有限会社 (現Hamee) 株式会社設立  
1999年 3月 Hamee (ハミィ) 株式会社設立  
1999年 4月 Hamee 株式会社 東証マザーズ上場  
2015年 4月 Hamee 株式会社 慶應義塾大学経済学部卒業

下鉄256駅を実際に調査して手作りしました。アルバイト情報誌やイベント情報誌に掲載されて、乗換の駅がわからない人に向けた情報提供のツールになりました。

その後、システム手帳のリファイルとして、(株)日本能率手帳に採用されたことを契機に、起業しました。最初は自宅の一部屋を事務所にして、1年間やってダメならやめるというのが、夫との約束でした。

**高校時代はどんな学生だった?**  
サッカー部のマネージャーでした。文化祭の劇にも参加して楽しかったです。

**小田高は自由な校風で、いい意味で先生方に放任されていたと思いません。**  
実は今もいとこの子供が小田高生なので、身近な感じがします。

**在校生・卒業生(後輩)へのメッセージ**  
好きなことを見つけて、頑張ることが一番だと思います。好きなことと向いていることは必ずしも一致しませんが、好きなことなら頑張れます。好きなことを見つけるのが大変な場合は、嫌なことは何かを考えてもいい。嫌だとと思うと、自分なりに課題解決の方法を考えます。そのアイデアを大事にするのが発明家の考え方です。



東証一部市場 上場セレモニー

いこと、やらなければならないのであれば工夫やチャレンジをしてほしい。夢中になると楽しくなります。そして、樂しければ幸せになれます。

**樋口 敦士 氏 (高47)**

Hamee (ハミィ) 株式会社  
代表取締役社長



**経歴**  
1995年 4月 慶應義塾大学経済学部入学  
1998年 5月 Macrowill 有限会社 (現Hamee) 株式会社設立  
1999年 3月 Hamee (ハミィ) 株式会社設立  
1999年 4月 Hamee 株式会社 東証マザーズ上場  
2015年 4月 Hamee 株式会社 慶應義塾大学経済学部卒業

**経歴**  
1979年 4月 東京大学理科2類入学  
1984年 3月 東京大学農学部卒業  
1984年 4月 ライオン株式会社 入社 (研究開発本部配属)  
2005年 4月 ファブリックケア研究所長  
2008年 1月 ファブリックケア事業部長  
2010年 1月 執行役員ハウスホールド事業本部長  
2012年 1月 取締役ヘルス&ホームケア事業本部長  
2019年 1月 代表取締役社長執行役員

**【主な活動内容】**

2016年 7月  
Hamee株式会社 東証一部 市場変更

【主な活動内容】

ネット通販のバックオフィスを支えるシステム事業や、IoTプロダクトを開発、Face等のスマートアクセスサリーのEC等を行っていますが、大学3年時の創業当初は、インターネットストアを作ろうと考えました。ところが、構想が大きすぎ、一旦諦め天然石アクセサリーのネット通販(EC)にシフトしました。その後、天然石で携帯のストラップを作ったの機に、商材が携帯電話アクセサリーへシフトし、その販売管理の必要性からシステム開発をし、それを外向けにSaaSという形でサービス提供し、今の会社の原型ができるようになりました。常識的な経験があれば、天然石アクセサリーのECで起業しないと思いますが、経験のないところからも、ピボット(方向転換)を重ね形にしてまいりました。これからのVUCA時代も、環境激変に合わせピボットを重ね進化していかたいです。

【高校時代はどんな学生だった?】

入学後、高校2年の夏ころまで、特に勉強もせず、目的もなく部活をしたり、友人と遊んだりと、ただ楽しい毎日を過ごしていました。2年時の夏以降は、たまに部活に出るくらいで、ひたすら受験勉強をしました。もっと、楽しめばよかった、受験以外の事も学べば良かったなど、思うこともありますが、当時の苦行

が(自立(やり抜く力)を養い、起業後の禁欲生活や、何度も訪れる倒産の危機を乗り越える事につながったと思います)。

【在校生・卒業生(後輩)へのメッセージ】

VUCA時代と言われますが、そこにはコロナが加わり、なおさら先が読めない、変化の激しい時代になつたと思われます。これから先、どうしようかと考える年頃かだと思いますが、何であれ得意分野を極める、と同時に、システム開発等のITの知識は必須だと思います。専門分野×IT、文系でも、芸術系でも、体育会系でもITに強い人とそうでない人の差があると思います。

が(自立(やり抜く力)を養い、起業後の禁欲生活や、何度も訪れる倒産の危機を乗り越える事につながったと思います)。

【在校生・卒業生(後輩)へのメッセージ】

VUCA時代と言われますが、そこにはコロナが加わり、なおさら先が読めない、変化の激しい時代になつたと思われます。これから先、どう

しようかと考える年頃かだと思いますが、何であれ得意分野を極める、と同時に、システム開発等のITの知識は必須だと思います。専門分野×IT、文系でも、芸術系でも、体育会系でもITに強い人とそうでない人の差があると思います。ぜひ、高校生のうちから、アプリ開発、ウェブサービス開発等に挑戦されると良いと思います。

そういう私は文系で、未だに自分で開発はできずに、日々開発者と一緒に仕事をするのに苦労しております。これから自分の手を動かし勉強していくこうと考えています。

※VUCA=Volatility  
(変動性・不安定さ)

【神奈川県立小田原高等学校 卒業生の活躍－経済界篇－ 活躍する卒業生の取材記事による小冊子(縦21cm×横10cm、24ページ)を発刊しました。】

【山口学(高16)氏、(株)関電工特別顧問】  
【星本忠人(高16)氏、富士ゼロック】  
【福井康代(高36)氏、(株)ナビツ

## 樺友祭(小田高ホームカミングデー)

### ◆令和2年度樺友祭の中止

令和2年度樺友祭(小田高ホームカミングデー)を創立百二十年周年

記念事業として5月10日(日)に母校で開催を予定し、準備を進めましたが、新型コロナウイルス感染防止

の見地から中止しました。

主要企画として準備した「八幡山トーキー」は別掲の資料委員会・石井副委員長による講演「小田原高校中等教育史料館ー設置とその意義ー」

を母校でビデオ収録しましたので、別途、樺友祭ホームページに動画を掲載します。

もう一つの主要企画「八幡山コンサート」は高40同期生で在学中に吹奏楽部に籍を置き、揃って東京芸術大学に進んで現在音楽教育と演奏活動を行っている原田博之さん(声楽)と市川景之さん(ピアノ・作曲)による「詩と音楽の織り成す世界」も母校での収録を検討しましたが、コ

地元・地域で活躍する小田高同窓生によるパネルディスカッション「人生100年、どう生きるか」。

コーディネーターは生命科学の基礎研究者で抗脈効果剤の開発を行った宇佐美英治(高23)さん。

パネラーは次の方々です。

・市川公雄(高22)さん

5年前に小田高と銀行の仲間6人

ス(株)元代表取締役社長・会長。

瀬戸薫(高18)氏、ヤマトホールディングス(株)特別顧問。

磯崎功典(高24)氏、キリンホールディングス(株)代表取締役社長。

柳川敦(高34)さん、小薦規夫(高36)さんを中心とした「パチャママ」

実家の米屋を営みながら、小田原市内の2・7ヘクタールの田んぼで農薬・化学肥料を使わずに米作りをしている。

・志村成則(高44)さん

・星野和子(高23)さん

明治以降の近現代史が専門で長年、自治体史の編集に従事。

### ◆令和3年度樺友祭の中止

ロナ禍の下で、調整が困難で、やむを得ず本年度の実施は中止し、来年度に樺友祭とは別の機会に単独の催事とした開催を予定します。

### ◆令和3年度樺友祭

高23同期会が担う主要企画

次年度の樺友祭は5月9日(日)に母校で開催を予定します。

卒業50周年を迎える高23同期会が主要企画「八幡山トーキー」、「八幡山コンサート」と「アトラクション」の準備を進めています。

### ◆八幡山トーキー

地元・地域で活躍する小田高同窓生によるパネルディスカッション「人生100年、どう生きるか」。

コーディネーターは生命科学の基礎研究者で抗脈効果剤の開発を行った宇佐美英治(高23)さん。

パネラーは次の方々です。

・市川公雄(高22)さん

5年前に小田高と銀行の仲間6人

ス(株)元代表取締役社長・会長。

樺口敦士(高47)氏、Hamee(ハ

ミイ)(株)代表取締役社長。

吉本興業所属の芸人・スペリー杉田(高52)さんによる芸能です。

### ◆アトラクション

青春かながわ校歌祭

令和3年10月2日(土)開催

校歌祭は2年ぶりの開催となります。

会場は、大和市文化創造拠点シリ

ウス。

常任幹事を通し、出演希望の募集を行います。宜しくご協力下さい。

ご要望の方はP36のFAXまたはメールで問合せ下さい。

## 小田高「自然環境フォーラム」

# 幻に終わった「第11回」を誌上で開催 令和3年に期待 内容の全てを復活再開で

小田高同窓会の恒例行事に定着した「自然環境フォーラム」。令和2年に予定した第11回はコロナ禍で開催できず流れてしまった。運営主体の生物部OB会牧林功会長（高4）は、幻に終えたこの第11回を誌上で開催で試み、そのうえで改めて令和3年6月の復活開催に向け、静かに準備にはいっている。

第11回フォーラムの総合タイトルは「自然の謎」。話題を提供する講師の顔ぶれは、今回も多彩だ。それ講演のテーマも興味津々。遺伝子の話では、いまコロナ禍で検査が注目されている抗体の話題にまで及ぶ。小田高の大先輩、昭和天皇の御進講役、酒井恒（高19）さん（中18）の活動紹介もある。フォーラム事務局の陣野一郎（高12）さんは、「コロナ禍で開催は流れた。第11回の内容は貴重だ。令和3年度開催にはソックリ復活できるよう考へている」と話す。

### 生物教材室も見学OK

このフォーラムでは、新しい企画も準備中だった。同窓会資料委員会の協力で、校内見学会を行うことにしていた。学校当局の厚意で生物教材室が開放され、その展示物、希少種剥製標本をフォーラム参加者を見て貰う試みである。小田高の生物

授業の豊かな歴史を紹介するという発想だ。

幻に終えたフォーラムというべきか、あるいは再現予定のフォーラムというべきか、その講演の内容を誌上でご紹介する。

### ヒトの遺伝子とは何か

#### 人類の歴史を読むことも可能に

##### ①話題提供「遺伝子を読む」

最初の登壇予定者は、元京都大学・化学研究所の相崎弘幸（高19）さん。

相崎さんがフォーラム事務局に送ってきたレジュメには、化学記号の力の子が、ずらりと並んでいた。それには「生物のゲノム（DNA）上には、タンパク質をコードする領域のほかに、遺伝子発現（RNAやタンパク質の合成）の制御や、DNAの複製に関与する機能領域が存在する」と書き出されていた。

### ネアンデルタール人まで遡る

「ひやー、難しい」。陣野さんから聞い合わせに、相崎さんはこう話してくれた。「心配はありません。フォーラムでは、分かりやすい話になりますから」。

参加者に語り掛ける遺伝子の話で、まずは遺伝子の構造を、そのうえ遺伝子情報の世界を理解して貰い、高校の生物の教科書にある内容の話

を展開させるという。遺伝子の研究は、人類の歴史で最初に現れたアーネルタル人の遺伝子まで解析されてきている。ということは、人類学の学説にも影響を及ぼしている

というわけか。そんな興味ある話が次々と出てくる。

新型コロナ・ウイルスの話もこうした遺伝子解析法の話の流れのなかで、相崎さんはいま注目の新型コロナ・ウイルスの検査法のPCRにも触れてみる、と言う。

### 世界パンデミックになった新型コロナ・ウイルスの感染者増減のなかで、相崎さんはいま注目の新型コロナ・ウイルスの検査法のPCRにも触れてみる、と言った。

#### 新型コロナ・ウイルスの話も

##### ②話題提供「蝶の不思議、いろいろ」

次の登壇予定者は、花が大好きな奥さまと一緒に蝶の観察をいまも続ける池田進（高15）さん。小田高生物部OBだ。タイトルそのままの話題。

### 池田さんのお宅の広い庭には、季節が変わることにたくさんの蝶が集まつてくるそうだ。その観察とカメラでの撮影記録が紹介される。話題のいくつかを挙げる。

#### 家庭の庭での観察、最高！

##### ③話題提供「小田原中学が生んだ偉人・佐藤はるか」

池田さんのお宅の広い庭には、季節が変わることにたくさんの蝶が集まつてくるそうだ。その観察とカメラでの撮影記録が紹介される。話題のいくつかを挙げる。

### 家庭の庭での観察、最高！

#### 酒井恒先生の全てを語ろう

##### ④話題提供「小田原中学が生んだ偉人・佐藤はるか」

池田さんのお宅の広い庭には、季節が変わることにたくさんの蝶が集まつてくるそうだ。その観察とカメラでの撮影記録が紹介される。話題のいくつかを挙げる。

### 家庭の庭での観察、最高！

#### 酒井恒先生の全てを語ろう

##### ⑤話題提供「小田原中学が生んだ偉人・佐藤はるか」

池田さんのお宅の広い庭には、季節が変わることにたくさんの蝶が集まつてくるそうだ。その観察とカメラでの撮影記録が紹介される。話題のいくつかを挙げる。

### 家庭の庭での観察、最高！

#### 酒井恒先生の全てを語ろう

##### ⑥話題提供「小田原中学が生んだ偉人・佐藤はるか」

池田さんのお宅の広い庭には、季節が変わることにたくさんの蝶が集まつてくるそうだ。その観察とカメラでの撮影記録が紹介される。話題のいくつかを挙げる。

### 家庭の庭での観察、最高！

#### 酒井恒先生の全てを語ろう

##### ⑦話題提供「小田原中学が生んだ偉人・佐藤はるか」

池田さんのお宅の広い庭には、季節が変わることにたくさんの蝶が集まつてくるそうだ。その観察とカメラでの撮影記録が紹介される。話題のいくつかを挙げる。

### 家庭の庭での観察、最高！

#### 酒井恒先生の全てを語ろう

##### ⑧話題提供「小田原中学が生んだ偉人・佐藤はるか」

池田さんのお宅の広い庭には、季節が変わることにたくさんの蝶が集まつてくるそうだ。その観察とカメラでの撮影記録が紹介される。話題のいくつかを挙げる。

### 家庭の庭での観察、最高！

#### 酒井恒先生の全てを語ろう

戦時中の小田原市立足柄国民学校の先生、同校を卒業して新制小田高に入学した若者たちの懐かしい恩師である。

### 蝶たちは舞う

#### 夢のような美しい世界

蝶の生態が、パワーポイントで紹介される。会場の参加者は、その魅力に取り込まれることだろう。

##### あのキレイな蝶 捕つて！

池田さんはいう。「雨上がりの水たまりに集まるミヤマカラスアゲハの群れの美しさは、いまも脳裏に焼き付いたままです。あの日、息子に『あのキレイな蝶さん、捕まえて!』と泣かれたのを思い出します」。温かな家庭での触れ合いが、講演に織り込まれている。

蝶の生態が、パワーポイントで紹介される。会場の参加者は、その魅力に取り込まれることだろう。

の御進講役、だつたのは有名だ。同時に、神奈川生物同好会も主宰されていて、毎年の夏、真鶴半島の岩村小学校では臨海実験教室（宿泊）が開かれていた。ここでご指導、薰陶を受けた小田中・小田高生物部の生徒は多い。

### 真鶴半島で臨海実験教室

講師の佐藤さんが語る酒井先生像は、会場で配られるレジュメにすべて書き込まれている。1903年（明治36年）、現在の足柄上郡大井町で生まれ、小田原中学、神奈川師範（現・横浜国大）、東京文理科大（現・筑波大）を経て岐阜県立女子師範で教職人生をスタートされた。

採集標本のカラー付図は奥さまの傑作

酒井先生の研究はカニの分類学で、作成された標本は約1万点、外国産の種を含め約7百種ものカニ類を網羅する世界的なコレクションだ。原色細密画も多い。カラー写真がない時代だけに先生が下絵を描き、奥様も付図として使用されているそうだ（牧林会長の話）。



幻となったフォーラムのポスター



高校2年 昭和24年2月18日

昭和24年2月18日で神中の記章の学帽で国民服にて中學4年まで下駄で通学。昭和23年4月より高校2年となり、記章は樺の葉で白泉2つの学帽ながら国民服で下駄姿。

戦後教育の基本は民主主義、個人主義という名の本に、縦軸を断ち、全てを横にすることを理想としました。現に占領軍の日本教育使節団員で高松の宮の教育係を勤めた、オーティス・ケリーは「横軸のない日本」という著書で、日本は縦軸が強すぎる、横軸を強くするようにといふことを述べています。縦を横にすることは、日本弱体化の一因にもなりました。

昔から日本人は縦を絶って、横にすることは碌でもないと考えています。その事は、横のつく日本語かな

内で、レジュメとパワーポイントを使って紹介する。会場の満足度は最高潮になるはずだ。

小田高同窓会の資料委員会は、酒井コレクションの資料収集を、母校の創立百十年記念行事として行いました。それらは校史展示室で常設展示中です。フォーラム開催当日、予定されている生物教材見学ツアーと共にご利用ください。

### ★

**お知らせ** 小田高生物部のホームページには、これまでの自然環境フォーラムの内容を伝えるバックナンバーが掲載されています。次のURLにアクセスするか、「小田高しきだも」で検索してください。

<http://odakoshirodamo.blog.fc2.com>

取材・記事 同窓会広報委員会委員  
「しきだも」記事編集

生物部OB会 会長 牧林功（高4）  
取材・記事 祖父江典子（高45）

生物部OB会 会長 牧林功（高4）  
取材・記事 祖父江典子（高45）

生物部OB会 会長 牧林功（高4）  
取材・記事 祖父江典子（高45）

内で、レジュメとパワーポイントを使つて紹介する。会場の満足度は最高潮になるはずだ。

昭和25年3月、卒業式も出ないで大学受験。次兄の入っていた桐花寮（東京教育大学生寮）から一週間、池袋、大塚を経て東京教育大へ。ところが次兄から借りた革靴が合わず靴擦れ。仕方なく下駄で受検。焼け残ったコンクリートの試験場に反響して田舎者丸出しであった。

秦野の丹沢山麓国民学校の5年から弟（高13）を背負って鍛えた山育ちが生き抜いた小田中・小田高の青春であった。

奥津裕（中44・高2）

ようやく終戦。食糧難と物資不足で神中の記章の学帽で国民服にて中學4年まで下駄で通学。昭和23年4月より高校2年となり、記章は樺の葉で白泉2つの学帽ながら国民服で下駄姿。

教育の立て直しは  
縦直しから

岩越豊雄（高15）

コロナ禍の怖さは何か

令和2年（2020年）は新型コロナウイルスの感染拡大で幕を開け、国際社会を揺るがし続けた。東京オリンピック・パラリンピックは延期され、われわれ樺友会の樺友祭（小田高ホームカミングデー）と同窓会総会も中止を余儀なくされた。

語弊があるかもしれないが、メディアの世界では歴史的事件や大きなニュースに遭遇し、報道できるこ

ら推察できます。横柄、横着、横暴です。それに横車、よこしま（邪）、横恋慕です。織物も縦糸がしつかり張られて、横糸が織り込めます。以前、県の教育事務所の所長をされていた方から、今、日本の教育は、授業が成り立たないような学級崩壊の現象をはじめ、深刻な問題を抱えている、その元は、長幼の序と係が崩れてしまったことにある、とおっしゃっていました。戦後間もなく頃は、まだ戦前の教育を受け、そろした気風を持った親や先生がいたからなんとかもった。しかし今は其のが、横様に崩壊してしまった。そこに日本の教育問題の根源があるよう思います。日本の教育の「立て直し」には、正に「縦に直す」ことから始めなければならないと強く思っています。

とを「現場運」がいいという。新聞記者としてフィリピンのマニラに3年3カ月、中国の北京に2回計5年駐在し、いろいろな出来事を目撃した。

ていたが、今回の方方が深刻に感じる。世界中に広がったコロナ禍には、一国だけでは対処できない。国際社会は緊密に連携すべきなのに、現実は逆行しているところに怖さがある。

フィリピンでは1989年、銃弾事件が飛び交う中、クーデター未遂事件を取材した。翌年はマグニチュード7.8のルソン島大地震、その次の年は20世紀最大の火山噴火となつたピナツボ山大噴火と大事件が相次いだ。

北京時代は1997年の鄧小平死去、香港返還などがあった。しかし最も緊迫したのは2003年に新型肺炎SARS（重症急性呼吸器症候群）が北京を襲ったときだ。



防護服で北京地壇医院の隔離病棟を取材

欧米の一部にはアジア系の人たちへの人種差別的な言動さえある。19世紀末から20世紀前半にかけて台頭した「黄禍論」の再来のようにも映る。「人類vsウイルス」の闘いは永遠に続く。国際社会が連帯し、特効薬やワクチンの共同開発などで先ずは新型コロナを終息させるよう祈りたい。

就任した時の挨拶としては、当たり前のことと承知しながら、今回会長に就任したもの、同窓会関係者の皆様方に面前でご挨拶できなかつたことを残念に思うとともに、お許しいただきたいと存じます。

創立百二十周年  
記念品贈呈

申上 ます。 就任したものの、同窓会関係者の皆様方に面前でご挨拶できなかつたことを残念に思うとともに、お許しいただきたいと存じます。

また、会長の選任にあたつても、書面評決という、これまで例のない方法であつたことも、異例の対応であり、関係の皆様方にいろいろお手数をおかけしたことを御礼申し上げます。

な財産である教育の歴史を、神奈川県立小田原高等学校中等教育史料館として展示し、一般公開することにしました。歴史のある多くの学校において、関東大震災や戦争の慘禍より焼失したために残されているのが限られている中で、この史料館にはしっかりと保存されているものが多く、極めて貴重なものと考えられています。中等教育史料館の整備に熱心に取り組んでいた委員の方々には、大きな業績をまとめ

員相互の親睦」「母校の発展」「社会への貢献」を目的に掲げ、地域職域同窓会や常任幹事会といった組織で構成され、日々の活動は、総会において事業計画と予算の承認をいただき、事業実施にあたっては、総務、交流、広報、史料、校歌祭の5つの委員会により活動がなされています。特に、会長、副会長、5つの委員会委員長と事務局の方々を構成メンバーとする運営委員会が毎月定期的に開催され、各事業の進捗状況の把

とりわけ、創立から百二十年と  
う長きにわたる小田原高校の歩みは、  
神奈川県の明治以降の中等教育の歴史  
みともなります。これまでの蓄積を  
もとに、今後も地域社会に貢献する  
人材の育成に努めます。

ます。このほかにも、百二十年史の作成、記念品の製作、会報などにも、足跡を残せるように努めてまいります。

コロナ禍という異例の状況での会長就任

吉川伸治（高23）



さて、本年は小田原高校創立百十年という記念すべき年に当たります。先生や現役生はもとより、諸先輩方など多くの小田高生等が歩んできた歴史と実績を刻む節目の年であり、次の節目に向けて持続的な取り組みに繋がる重みのある年であると考えています。

そこで、創立記念事業の一環として、学校、PTA、同窓会による記念事業実行委員会のもとに、記念式典委員会や史料委員会等の委員会を設置し、取り組むこととしました。

いたぎ、改めて皆様のご熱意と、  
尽力に敬意を表しますとともに心から感謝申し上げます。

また、記念式典についても、こ  
までのように関係者をお招きして実  
施すべきところ、世界中に拡大して  
コロナ禍の影響により、人を集め  
イベントを実施することが困難な状  
況のため、バーチャル記念式典とし  
て何とか実施できるように、実行  
委員会のメンバーによる知恵や工夫  
とともに、城内高校同窓会窓梅会  
も加わっていただき取組を進めて、

握や事業の実施に必要な応援・協力などエンジン役の機能をしっかりと果たしています。

今まで経験したことのないコロナ禍の中での会長就任となりましたが、今後とも、櫻友会の運営に当たっては、会員各位の絶大なる支援を物心両面においていただきながら、記憶に残る取組とともに、記録にも残る実績をつくれるように、精一杯力を 尽くしてまいりますので、今後とも、ご理解、ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

## 地域・職域同窓会の動き

### 第25回 南足柄桜友会 講演会・総会・懇親会を開催

南足柄桜友会では、近年は隔年で講演会・総会・懇親会を開催しております。

第25回に当たります今回は、役員18名が入念に準備を進めながら、令和元年10月26日(土)に開催しました。



南足柄桜友会 2019年10月26日

お話を伺うことができました。

市内の割烹わかふじで行いました。

総会・懇親会では、講演会の講師前田裕弘様、本校から澤村東樹教頭、

同窓会から本会員でもあります関野純一副会長(高23)の御臨席の下、

総勢34名で会を進めました。年々出席者が減る中、他地区へ転出された方や初めて出席された若い方などの姿が拝見され、世代を超えた交流が図れるなどとても和やかな一時を過ごすことができました。

第26回の開催が待ち遠しいこの頃です。

事務局長 石綿一弘(高29)

### 広島県小田高会

幹事

竹内(近江谷)しのぶ(高44)

### 第28回 八幡山を語る会

私事ですが、教え子の井上弘(高26)君により、「戦争と民衆75号」の「小田原の戦争体験」に印刷局での工場勤員中の満州国紙幣印刷中に艦載機の空襲をうけ機銃掃射を浴びた体験談を掲載していただきたり、

今回的小田原市長選挙での出会いや、各種団体を運営していく上で、卒業生の協力をいただき感謝に堪えません。まさに「教師冥利に尽きる」そのもので日々元気に過ごしています。

世話人 奥津裕(中44・高2)

活動内容としては、広島市で毎年1月に「ひろしま男子駅伝」が開催されるのですが神奈川チームの応援はもちろん、平和公園前の会場「ふるさと広場」で豚汁販売や神奈川県産物販を行っています。豚汁の豚肉は神奈川県より高座豚を取り寄せ、他材料は中四国と九州で「ゆめタウン」などのスーパーを展開する(株)イズミ社長山西(和田)泰明(高17)氏全面協力の元、広島県産の安心材料で作られており、毎年この豚汁を目当てに来られるお客様もいます。

今後は小田原の物産も置いてみたいと考えています。今年度は当会もお花見・ビアガーデン・忘年会・新年会・男子駅伝など集まる機会を無くしております。広島県在住の方!是非小田高会兼神奈川県人会へご参加ください!

葛野先生は他の教え子たちとの会合に向かわれて、写真に入る暇もない忙しさでした。  
また、英語の長田勝海、国語の坂本規一、数学の本多裕明、草柳源治、地学の加藤克己、体育の富樫茂義、養護の乾ほみ江、社会の大野扶自男の各先生は自治会長や文化祭のバザーの準備やら仕事の都合やらで欠席でしたが、卒業生の皆さんによろしくのことでした。



左から 原田先生、吉田先生、奥津先生、藤田先生

南足柄市女性センター研修室を会場とした講演会では、地元企業のアサヒビール株式会社神奈川工場の前田裕弘総務部長を講師としてお招きし、「アサヒビールの歴史と神奈川工場の概要について」というテーマでお話しいただきました。32名の会員が出席し、歴史もさることながら、神奈川工場における品質管理や環境保護への取組など、とても興味ある

この度、広島県小田高会として母校創立120周年の記念すべき会報への寄稿という大役を大先輩である平野朝彦(高9)氏より任され大変恐縮いたしておりますが、私たちの会の紹介をしたいと思います。

広島県小田高会は現在では小田高会を母体として「神奈川県人会」という形で広島に住む神奈川県由来のある人達が集まつた会へと発展し、活動をしております。会長は和田正五(高21)氏です。神奈川出身で現在は広島在住・赴任中である方、広島県民だが大学時代に神奈川に住んでいた方などがメンバーです。主な教え子達の話題に盛り上がりました。

藤田和雄

## 小田中・小田高東京会

6月3日（水）に四谷駅前・プラザエフで開催を予定した第30回小田中・小田高東京会は、新型コロナウイルス感染防止のため中止しました。次回は令和3年6月2日（水）午後6時から同会場で開催予定です。

事務局・蛭田（高15）

## 湯河原地区 小田高会

2月1日（土）湯河原駅前の「ホテル城山」で28名の参加をいただき、恒例の新年会を開催しました。締めは、年齢に関係なく肩を組み「冠たる伝統」と「校歌」を声高らかに吟じ、遙か遠くなつた高校生活を思い出す一日となりました。

今年も行事盛り沢山「ボーリング」「パークゴルフ」「海岸清掃」等多数の参加をお願いし、会員の親睦を図り、新型コロナには勝てず、総会を始め様々な行事を中止するところとなりました。皆様に報告する内容がほとんど無く、申し訳ございません。

この原稿を書いている今日は7月30日です。平年ですとこの時期は夏空が広がり、近くの木立からはうるさいほどセミの声がするのですが、今日も梅雨空です。「50年に一度の」「かつて経験したことのない」などと形容される大雨が全国各地でおきています。

当時の日本は空前の高度経済成長期。会社も時代と共に飛躍的に発展し、多くの会員が全国の支店、営業所などに転勤し「桜友」の発行が困難な状況となり、遂に、昭和42年（1967）第6号を以って休刊となってしまった。その後の長い年月を経た平成12年（20

異常気象がどうしておきるのか、気象予報士の常盤（高43）さんに解説してもらえる機会があつたらと思う今日この頃です。

早くコロナを克服し、日常の生活

が戻り、同窓会事業が再び動き出しひくればと思う日が続いています。

小澤穎（高16）

## 富士フィルム「桜友」のあゆみ

母校の創立120周年、おめでとうございます。このメモリアルな年に、我が小田中・小田高から巣立つた先輩の方々が作つてこられた「桜友」の歴史と現在の活動をご紹介しましょう。

昭和9年（1934）創業の富士

フィルムに入社した先輩方は各々の職場で、スポーツや文化活動を行つて来ましたが、昭和29年（1954）、高校卒6回生を迎えたのを機に、会員間の親睦や母校との関係維持などを目的に、会員約130名で桜友会を創設、機関紙「桜友」を発刊し、定期的に刊行を続けてきました。



富士フィルム桜友会ウォーキング「大雄山最乗寺参拝と精進料理を食す会」  
於：光明亭前 令和元年11月30日

同窓の皆様、小田高健児魂で結ばれていた青春時代を今一度、ご一緒に楽しみませんか。同じ趣味を通して共に過ごすことも、今日の生き方の一つかと思っています。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

奥津博（高14）

一度、NHKの「エール」の古関裕而作曲の軍歌「ラバウル海軍航空隊」「露營の歌」「暁に祈る」や「ああ紅の血は燃ゆる」（学徒動員の歌）の4曲に励まされて完成できたことは、戦時中の印刷局への動員等の経験が大いに役立った。



戦後の体育祭の仮装行列  
平和を願う70年前の高2回生

## 中44・高2 八幡会 コロナ騒ぎを生き抜いて

例年のように、1月20日の役員会にて、4月4日に総会・懇親会を小田原の料亭「柏又」で開催を決定。

準備に入つたが、コロナ騒ぎが大きくなり、3月中旬から出席辞退が入るようになり、3月下旬の料理屋さんの要請で中止せざるを得なくななり、電話連絡に追われてしまつた。高校卒業70年なのに誠に残念。

しかしながら、4月7日の緊急事

態宣言の中、古木弘久君が奮闘、編集をしてくれた「会員だより17号」、役員外出禁止で印刷もままならず、同時期に、某田原市長選の激戦もあって、ようやく製本発送が終えたのは4月末であった。

一度、N.H.K.の「エ

31号」に欠落していた、箱根駅伝にも納めることができたことは会員一同感謝の至りである。

その上、同窓会会報の「八幡山第

同期の土屋邦夫君の立教大学で1、4年の4年間の年の第6区箱根の山下りでの活躍が、箱根駅伝ミュージアムに照会して判明したことも喜ばしい限りであった。

## 同期会の動き

令和2年1月24日（金） 樫九会幹事会は、5月16日（土）に、予定通り、小田高創立百二十周年記念、東京オリンピック記念、櫻九会ファイナルの3つのタイトルの月の会を開催することを決定！3月中旬に案内状を作り、4月初旬に発送することに決めた。

3月13日に出来上がり、印刷会社に支払い。ところが、政府がコロナウイルスの緊急事態宣言を4月7日から5月6日まで出した。東京オリンピックも桜友会も1年延期。

4月4日（土）幹事を非常募集。

常任幹事 奥津和彦



小田原駅東口の小田原高校発祥地  
母校の百二十周年を祝う幹事達

今後も、戦前、戦中、戦後を生き抜いた力で、会員相互に励ましあつて活動を続けて行く所存である。

幹事代表 奥津裕

## 櫻九会

小田原高校卒業生等の箱根駅伝出場選手一覧 追加資料

| 卒業回    | 氏名    | 大学   | 大会年    | 戦績                    |
|--------|-------|------|--------|-----------------------|
| 中44・高2 | 土屋 邦夫 | 立教大学 | 第25回大会 | 昭和24年 6区4位(1時間25分19秒) |
|        |       |      | 第26回大会 | 昭和25年 6区6位(1時間22分58秒) |
|        |       |      | 第27回大会 | 昭和26年 6区5位(1時間22分29秒) |
|        |       |      | 第28回大会 | 昭和27年 6区7位(1時間25分48秒) |

櫻九会も1年延期を決定、サア大変だ。会場キャンセルの電話を会場のマネージャーに入れる。「コロナの問題ではキャンセルも仕方がないですね」とのこと。

来年の予約話に移り、予約は全部キャンセル。一般客は8割減。来年まで会社が持つかどうか？と悲痛な声。案内状の返信面もキャンセル。往信面に赤のサインペンで朱を入れ、来年5月15日に延期の案内を百名に出した。キャンセル分で47枚の往復ハガキで済む。

4日に集まつた幹事たちは、小田原駅東口にある小田高発祥の地の石碑に集まり、母校の百二十周年を祝つた。

小田高、東工大、丸紅へ。退職後バーテンダーの無給修行を終えて、在米中に魅せられたジャズバーの夢を実現した異色の仲間です。

ピアノ、サックス、ドラムの生演奏を聴きながら飲むカクテルの味は格別！

自分達の子供のような若者との会話を楽しみながら楽しいひと時を過ごした。

演目は年齢を考えて、なじみのある曲を選んでいただいた⋮とうれしい心配りも。

散会後、又、居酒屋でおしゃべり。奈良から参加の河口さん他、各自にホテルに一泊。

いくつになつても学生時代の仲間是非、興味のある方は立寄つてみて下さい。演目など詳細は、ホームページを参照していただけたら幸いです。

## 新会員を迎えて → 同窓会入会式

今年も新たに319人の会員を同窓会に迎えました。今年の入会式は、年初めからの新型コロナウイルス感染症の流行により、2月から学校が休校となる中でしたが、思い出の詰まった母校からの卒業式を翌日に控えた3月6日、母校体育馆で第72回卒業生の櫻友会（同窓会）入会式が行われました。

## 高13 ライブ演奏を聴きながら ライブ演奏を聴きながら

## 高21回 卒業生 大学で講義を行います

30回の司会で、まず、津田憲一郎

千葉陽子



激励の言葉を送る津田会長

会長が新入会員に対して、ホームカミングデーをはじめとする同窓会の活動内容、3万人を超える卒業生が社会の各分野で活躍していることなどを紹介し、入会への歓迎とこれらの活躍を期待する激励の言葉を贈りました。引き続き、各クラスから選出された2人ずつの幹事の紹介があり、高72の常任幹事となつた岡部光志さん、吉川朋花さんに、会長から常任幹事の委嘱状が手渡されました。2人の常任幹事からは、常任幹事の決意が表明されました。また、新入会員には、入会記念品としてボールペンと印鑑がセットになつたネームペンが贈られました。

最後に、司会の津田先生から、同窓会組織の概要や各委員会の活動内容、桜友祭（ホームカミングデー）などの紹介があり、入会式を無事に終えることができました。

今年も校内幹事の先生をはじめとして、学校のご理解とご協力により、ほとんどの卒業生が同窓会の会員となりました。

ミングデーをはじめとする同窓会の活動内容、3万人を超える卒業生が社会の各分野で活躍していることなどを紹介し、入会への歓迎とこれらの活躍を期待する激励の言葉を贈りました。引き続き、各クラスから選出された2人ずつの幹事の紹介があり、高72の常任幹事となつた岡部光志さん、吉川朋花さんに、会長から常任幹事の委嘱状が手渡されました。2人の常任幹事からは、常任幹事の決意が表明されました。また、新入会員には、入会記念品としてボールペンと印鑑がセットになつたネームペンが贈られました。

最後に、司会の津田先生から、同窓会組織の概要や各委員会の活動内容、桜友祭（ホームカミングデー）などの紹介があり、入会式を無事に終えることができました。

## OB会の動き

ろ、様々なエピソードが寄せられました。

創立メンバーの市川五郎（高3）

さんを初めてとする約20名のOBの皆さんをOB会開催のご案内をしておりました。新型コロナ感染防止対策に対応し今年度はやむなく中止することといったしました。

坂宣嘉さん（懐かしく思い出される原バドミントン協会初代理事長の野原バドミントン協会初代理事長の野

ら常任幹事の委嘱状が手渡されました。2人の常任幹事からは、常任幹事の決意が表明されました。また、新入会員には、入会記念品としてボールペンと印鑑がセットになつたネームペンが贈られました。

トーン部の思い出をまとめた記念誌の発行を計画し呼びかけを行つたところが多いと思います）の特別寄稿や現役生徒さんからのコメントもあり、小田高バドミントン部の歴史がより身近に感じられる記念誌を作ること

ができます。

これを機に当OB会の活動にご参加いただければ幸いです。

**理事長 小瀬純一（高21）**

OB会開催のご案内をしておりました。新型コロナ感染防止対策に対応し今年度はやむなく中止することといったしました。

坂宣嘉さん（懐かしく思い出される原バドミントン協会初代理事長の野原バドミントン協会初代理事長の野

ら常任幹事の委嘱状が手渡されました。2人の常任幹事からは、常任幹事の決意が表明されました。また、新入会員には、入会記念品としてボールペンと印鑑がセットになつたネームペンが贈られました。

トーン部の思い出をまとめた記念誌の発行を計画し呼びかけを行つたところが多いと思います）の特別寄稿や現役生徒さんからのコメントもあり、小田高バドミントン部の歴史がより身近に感じられる記念誌を作ること

ができます。

これを機に当OB会の活動にご参加いただければ幸いです。

理 事 長 小瀬純一（高21）

## 会員通信

元年度同窓会総会への返信等から（概要）

約170名の皆さんには既にお届け済みですが、当OB会で把握している卒業生はまだ一部であります。

この記事をご覧になつたバドミントン部卒業生の皆さんまで、お手元に届かなかつた方はご連絡いただければお送りいたします。

これを機に当OB会の活動にご参加いただければ幸いです。

理 事 長 小瀬純一（高21）



ご冥福をお祈りいたします

記  
報

- (1) 小田高祭への参加  
令和2年6月6日(土)、7日(日)  
の両日、左記を実施する。(中止)  
・小田原高校中等教育史料館の公開  
一般教室に「同窓会コーナー」を
- (2) 委員会の活動  
各委員会の事業計画については省略します。詳細はホームページをご覧ください。
- (3) その他  
3 その他

2 委員会の活動  
本年に母校が創立百二十周年を迎えることから、学校、PTA、同窓会の3者で実行委員会を組織し、3者が協力して、記念式典や各種記念事業の準備と着実な実施に向けて取り組む。

(2) 小田高創立百二十周年記念事業の実施準備  
種事業の一層の充実を図るとともに、継続事業を確実に推進し、会員の参加を呼び掛けて行く。

(1) 同窓会事業への会員参加の促進  
「親睦事業・会費検討会」の答申を受け、新たに取り組みを始めた各

## 令和2年度 事業計画

- 設置し、樺友祭で実施する「活躍する同窓生」のパネル展示他を行う。  
(2) 各種役員に多くの女性が参加するよう、引き続き呼びかけを行う。  
(3) 事務局員の複数化に向けた取り組みを引き続き進める。

# 樺友会(同窓会)からの お知らせ

## 資産の状況 (2019年度)

2020.3.31現在  
(単位:円)

| 1 基本金            | 24,975,897 |
|------------------|------------|
| (1) 横浜銀行 定期預金    | 11,530,890 |
| (2) さがみ信用金庫 定期預金 | 13,445,007 |
| 2 記念事業積立金        | 3,090,943  |
| (1) 横浜銀行 定期預金    | 3,090,943  |
| 3 名簿会計積立金        | 0          |
| (1) さがみ信用金庫 普通預金 | 0          |
| 4 一般会計保管金        | 17,297,317 |
| (1) 横浜銀行 普通預金    | 3,524,800  |
| (2) 郵便局 振替口座     | 11,860,395 |
| (3) ゆうちょ銀行 普通貯金  | 1,848,976  |
| (4) 現金(小口資金)     | 63,146     |
| 合 計              | 45,364,157 |

\* 総会で報告された予算・決算をお知らせいたします。  
詳細はホームページをご覧ください。

## 創立百二十周年 記念史のご案内



母校は令和2年（2020）に創立百二十周年を迎えました。創立百二十周年記念事業の一環として、令和3年2月に『小田高百二十年史 創立百周年からの歩み』を発行する予定です。A4判、横書1段組、約200ページです。発行後、実費での販売を予定しておりますが、ご注文方法などは改めてご案内申し上げます。

### ◆内容（予定）

- 絵（カラー）
- 祝辞
- 第1章 学力向上の取組み
- 第2章 教育活動の推進
- 第3章 創立百二十周年記念事業
- 第4章 生徒会
- 第5章 PTA
- 第6章 同窓会
- 資料集
- 年表

**全国レベルで活躍する卒業生をお知らせください！**

史料委員会では数年来、全国レベルで活躍する卒業生を集めた「卒業生の活躍」というリストを作り、情報報をいただきまして運営委員会で承認を得て、リストを常時更新しております。

「卒業生の活躍」は、毎年3月に新入会員（3年生）へ配付する小冊子「桜友会」に掲載したり、小田高祭で同窓会企画として展示したりして、多数の生徒、保護者、卒業生から高いご関心をいただいています。

そこで「卒業生の活躍」をより充実させるため、それぞれの同期会、地域・職域等同窓会、部OB会、そして個人のみなさまから、広く情報をご提供いただきたく存じます。ぜひ同窓会事務局（P36同窓会連絡先）まで、お知らせくださいますようお願い申し上げます。

合は、P36同窓会連絡先宛て投稿をお願いします。

### ◆提出期限

令和3年9月1日

原稿が遅くなる場合はご一報ください。

### ◆「八幡山」をホームページで見ることが出来ます。

25号から会員通信、訃報、会費・

寄付金納入者リストを除き、掲載された内容を小田高同窓会ホームページから閲覧できます。

### ◆個人情報にご注意ください

会報や同窓会ホームページに原稿を掲載する際、個人が特定できる氏名や写真等が含まれる原稿をご投稿いただきました際は、必ずご本人の事前の承認を受けていただきますようお願ひいたします。

### ◆広告料（寸法はおおよそです。）

|                        |         |
|------------------------|---------|
| ① 横 8.8 cm × 縦 4.5 cm  | 15,000円 |
| ② 横 17.8 cm × 縦 4.5 cm | 30,000円 |
| ③ 横 17.8 cm × 縦 9.6 cm | 60,000円 |

（1頁5段のうちの下2段）

（1頁5段のうちの最下段）

（1頁5段のうちの下2段）

◆配付先  
同窓会会員 約22000部  
在校生及び新入生 約1000部  
教員・他校同窓会等 約500部

◆広告料（寸法はおおよそです。）

① 横 8.8 cm × 縦 4.5 cm

## 第33号「八幡山」の 原稿募集と投稿先の お知らせ

### 第33号「八幡山」に 掲載する広告を 募集します!!

### ◆広告原稿

広告の原稿（デザインを含む）は、申込みの際、広告主様ご自身でご用意ください。掲載時は白黒（グレイ可）となります。

### ◆募集の締切り

締切りは令和3年9月1日とさせていただきます。

広告原稿の作成が遅れる場合は、遅くとも9月末までにお送りください。申込方法は、同窓会ホームページをご覧ください。なお、会報の趣旨に沿わない場合や申込数が多数となる場合はお断りすることがあります。

36同窓会連絡先までお申出ください。  
広告の掲載を希望される方は、P8  
に記載の通りにご用意ください。

### ◆発行時期

令和3年12月中旬（予定）

約23500部（予定）

メールの場合は、  
kaihoo@odako.org  
宛てにお送りください。

FAX、郵送（私書箱）による場

## 会費は同窓会活動の源泉です！

◆ 同窓会は会費で運営されています。

この会報「八幡山」は、会員全員に送られています。発送部数は、約2万2千部になります。

また、会費は、ホームカミングデー、校歌祭、校史展示室の運営、運動部等生徒の激励、新入会員記念品の贈呈など、さまざまな会の運営の源泉になっています。

◆ 納入はコンビニ・郵便局などで年会費3千円。ただし、卒業後1年目(19歳)は納入を免除し、卒業後2年目(20歳から6年目(24歳)までは、千円です。

年会費は、この会報に同封されている払取扱票をもってコンビニまたは郵便局で納入いただか、次の一要領によりお振込みください。

★ ゆうちょ銀行を利用

- ・ 口座番号 00240-4-63525
- ・ 口座名 神奈川県立小田原高等学校
- ・ 同窓会

### ★ 銀行・信金から振込

・ 銀行名 ゆうちょ銀行(9900)

・ 支店 029(ゼロ二キュー)

・ 口座番号 当座 0063525

・ 加入者名(カナ) カナガワケンリ

ツオダワラコウトウガツコウドウソ

ウカイ

★ ダイレクトバンキングを利用

パソコンや携帯電話などを操作して振込む方法もあります。

この方法は銀行などの支店に行か

なくともよく、いつでも利用でき、手数料が支店利用時よりも安くなるなどのメリットがあります。

◆ なお、ご依頼人・通信欄において、次の例の通り、ご氏名のあとに卒業回数を必ず記入願います。

・ 払込用紙の場合  
小田高 太郎 高45

・ ATM・ダイレクトバンキングの場合  
オダコウ タロウ コウ45

・ 但し、ゆうちょダイレクトの場合、ご依頼人番号に卒業回数を記入願い

ます(中学卒業生の場合は先頭に0(ゼロ)をつけてください)

◆ 終身会費が人気です

60歳以上の方は、年齢に応じた金額(60歳は5万円で1歳上がるごとにマイナス3千円)。70歳以上は一律2万円)を納入することができます。

ご利用には、「郵便局の払取扱票」が必要です。詳しくは同封の「終身会費制度のご案内」をご覧ください。

### 納入方法

同封の「がんばれ！ 小田高応援基金専用郵便払取扱票」をご利用ください。

### 寄付の額

1口千円で何口でも結構です。

### ◆ 寄付のお申込み方法

受講費補助等です。

イルス対策の生徒用非接触型体温計の購入および教員向け予備校セミナー

最近の支援の内容は、学校説明会用クリアファイル作成、新型コロナウイルス対策の生徒用非接触型体温計の購入および教員向け予備校セミナー

いたげるよう努めてまいりたいと思います。

※太字は物品購入費

#### 進路指導・進学研究について

- ① 教員の予備校等の受験指導研修に係る受講費及び旅費
- ② 進学説明会参加経費
- ③ 進路説明会に係る卒業生合格体験講師等旅費

#### 理科教室について

- ① 生物教材室LED照明工事(H30) 57,672円
- ② 生物教材室遮光カーテン設置(H29) 85,860円

#### 学校説明会について

- ① 説明会資料配布用クリアファイル作成
- ② プロジェクター及びスピーカー購入(H30) 454,145円
- ③ 学校説明会会場使用料

#### 部活動について

- ① 弦楽部楽器購入 チェロ2台(H27) 189,600円
- ② トレーニング機器購入(H27) 300,000円
- ③ 部活支援懸垂幕設置(H29) 62,640円
- ④ 大会参加及び引率経費
- ⑤ 倉庫(物置)購入(H24) 295,890円

#### その他

- ① 液晶テレビ購入(エントランスホール用モニター)(H24) 162,330円
- ② パソコン購入(H26 10台・H28 1台) 647,770円
- ③ 体育館見分幕(H28) 268,272円
- ④ 体育館見切り幕購入(R1) 123,120円
- ⑤ 樅の葉文庫用図書ラック購入(H28) 35,640円
- ⑥ 樅の葉館看板設置(H24) 35,700円
- ⑦ 校史展示室エアコン設置(H26) 266,328円
- ⑧ 応援用太鼓設置台購入(H26) 38,880円
- ⑨ 南館前ソーラー時計交換修理(H30) 485,136円



また、次の口座への振込も可能ですが、振込手数料は恐れ入りますが皆様にご負担をお願いします。

払込手数料は基金で負担いたしま

## 小田高応援基金からの報告

「がんばれ！ 小田高」応援基金

は本年度で13年目となります。昨年度までご寄付いただいた方は約6千四百人・39団体に及びます。

毎年ご寄付くださる方も多く、同窓生の皆様のご芳志に運営委員会一同心より御礼申し上げます。しかしながら発足当初に比べますと寄付額は徐々に減少しておりますので、皆様に状況を知つていただき、ご協力

加入者名：「がんばれ！小田高」応援基金

○郵便局以外の金融機関（銀行、信

金  
銀行名：ゆうちょ銀行  
金融機関コード：9900  
店番：029

店名：○二九店（ゼロニキュウ店）  
預金種目：当座預金

口座番号：0081599  
口座名（カナ氏名）：ガンバレオダ

コウオウエンキキン  
学習や部活に全力で取り組んでい  
る小田高生を支援するため、皆様の  
ご協力をよろしくお願ひいたします。

**補助金をもらつて  
同期会を始めよう！**

同窓会が発展するためには、同期会の結束・活性化が不可欠です。そこで、同窓会では、各卒業期が新たに同期会を結成する場合には、5万円を限度として、補助金を交付しています。ぜひ、ご利用ください。

補助金の交付を希望される場合は、同窓会ホームページの同期会結成補助金交付要領にしたがって、申請書をダウンロードしてお使いください。申込書および必要書類を添付してP36同窓会連絡先宛てに郵送してください。

また、各同期会において、同期の住所録一覧（Excelファイル等）が必要な場合には、申請書に希望内容と連絡先PCメールアドレスを追記いただくか、または、桜友会（keyyuka@odako.org）宛てにメール連絡いただければ、対応いたします。  
☆なお、同期会開催後は、報告書を提出するか、会報「八幡山」に投稿をお願いします。



至誠無息

## 桜の葉文庫

「桜の葉文庫」は、学校が「卒業生と関係者の著書や論文を広く収集し、各界の卒業生の業績を一堂に集め、在校生の指針とする」ということを目的に、平成元年に県下で初めて創設しました。卒業生、在校生、旧職員、現職員、その家族の著書を集めたもので、小説、雑誌、画集、教科書など多岐にわたります。著書をお持ちでしたら、ぜひ小田高図書館へご寄贈ください！

| 卒期     | 著者               | 書名  |
|--------|------------------|---|
| 中7家族   | 瀧谷 彰久            | 箱根駅伝コースはどのようにして作られたか  |
| 中19    | 石井 富之助           | 小田原叢談   |
| 高34    | 前多 秀彦            | 曲集 チーターくん   |
| 中39    | 小玉 石水            | 第十九集 常磐木隨筆、第二十集 晩秋の言葉集  |
| 中44・高2 | 中44・高2 同期会       | 八幡会会員だより 第17号   |
| 高5     | 國友 道治            | 標石  |
| 高11    | 小田原史談会           | 小田原史談 第259号、第260号、第261号、第262号                                     |
| 高11    | 茂登山 東一郎          | 茂登山東一郎画集  |
| 高15    | 岩越 豊雄            | 「令和」に生かす『論語』の学び   |
| 高19    | 假野 隆司            | 「新型うつ病」は存在しない、「更年期障害」は存在しない及び続編、体外受精は究極の不妊症治療ではない、生活習慣病はクスリでは治らない |
| 高26    | 巻上 公一            | 至高の妄想   |
| 高39    | 秋山 幸也            | なんでもつかまえてみる本  |
| 高53    | 村田 茂雄            | 起業アイデア3.0   |
| 高56    | 鳥居 紗也子           | 「坂口安吾」ができるまで  |
| 非公開    | 迎 ラミン<br>(本名非公開) | 白黒パレード、ご試食はいかがですか？、保健室のヨーガとコーチ                                    |

## 寄付金・会費納入状況 (令和元年10月から令和2年9月まで)

| 卒年                  | 会員数   | 亡     | 不明者 | 有効会員数 | 入金人数 | 入金額     | 入金率    | 卒年               | 会員数    | 亡     | 不明者   | 有効会員数  | 入金人数  | 入金額       | 入金率    |  |  |  |  |  |  |  |
|---------------------|-------|-------|-----|-------|------|---------|--------|------------------|--------|-------|-------|--------|-------|-----------|--------|--|--|--|--|--|--|--|
| 旧教職員                | 944   | 242   | 285 | 417   | 7    | 21,000  | 1.68%  | 高16回(昭和36年～39年)  | 386    | 62    | 27    | 297    | 23    | 69,000    | 7.74%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 小計                  | 944   | 242   | 285 | 417   | 7    | 21,000  | 1.68%  | 高17回(昭和37年～40年)  | 405    | 50    | 55    | 300    | 25    | 75,000    | 8.33%  |  |  |  |  |  |  |  |
| <b>中学校</b>          |       |       |     |       |      |         |        |                  |        |       |       |        |       |           |        |  |  |  |  |  |  |  |
| 中1回(明治34年～39年)      | 42    | 40    | 2   | 0     | 0    | 0       | 0.00%  | 高18回(昭和38年～41年)  | 528    | 61    | 72    | 395    | 35    | 105,000   | 8.86%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中2回(明治35年～40年)      | 41    | 37    | 4   | 0     | 0    | 0       | 0.00%  | 高19回(昭和39年～42年)  | 472    | 39    | 59    | 374    | 20    | 60,000    | 5.35%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中3回(明治36年～41年)      | 41    | 38    | 3   | 0     | 0    | 0       | 0.00%  | 高20回(昭和40年～43年)  | 485    | 31    | 85    | 369    | 32    | 96,000    | 8.67%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中4回(明治37年～42年)      | 41    | 38    | 3   | 0     | 0    | 0       | 0.00%  | 高21回(昭和41年～44年)  | 455    | 43    | 53    | 359    | 19    | 57,000    | 5.29%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中5回(明治38年～43年)      | 36    | 30    | 6   | 0     | 0    | 0       | 0.00%  | 高22回(昭和42年～45年)  | 435    | 42    | 73    | 320    | 31    | 93,000    | 9.69%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中6回(明治39年～44年)      | 52    | 39    | 13  | 0     | 0    | 0       | 0.00%  | 高23回(昭和43年～46年)  | 439    | 27    | 68    | 344    | 27    | 81,000    | 7.85%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中7回(明治40年～45年)      | 25    | 25    | 0   | 0     | 0    | 0       | 0.00%  | 高24回(昭和44年～47年)  | 429    | 13    | 102   | 314    | 30    | 93,000    | 9.55%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中8回(明治41年～大正2年)     | 56    | 44    | 12  | 0     | 0    | 0       | 0.00%  | 高25回(昭和45年～48年)  | 414    | 12    | 94    | 308    | 31    | 93,000    | 10.06% |  |  |  |  |  |  |  |
| 中9回(明治42年～大正3年)     | 71    | 66    | 5   | 0     | 0    | 0       | 0.00%  | 高26回(昭和46年～49年)  | 411    | 15    | 114   | 282    | 32    | 96,000    | 11.35% |  |  |  |  |  |  |  |
| 中10回(明治43年～大正4年)    | 57    | 52    | 5   | 0     | 0    | 0       | 0.00%  | 高27回(昭和47年～50年)  | 407    | 25    | 64    | 318    | 32    | 99,000    | 10.06% |  |  |  |  |  |  |  |
| 中11回(明治44年～大正5年)    | 59    | 47    | 12  | 0     | 0    | 0       | 0.00%  | 高28回(昭和48年～51年)  | 405    | 17    | 79    | 309    | 34    | 102,000   | 11.00% |  |  |  |  |  |  |  |
| 中12回(明治45年～大正6年)    | 63    | 54    | 9   | 0     | 0    | 0       | 0.00%  | 高29回(昭和49年～52年)  | 452    | 18    | 92    | 342    | 31    | 93,000    | 9.06%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中13回(大正2年～7年)       | 59    | 55    | 4   | 0     | 0    | 0       | 0.00%  | 高30回(昭和50年～53年)  | 444    | 11    | 139   | 294    | 22    | 66,000    | 7.48%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中14回(大正3年～8年)       | 84    | 75    | 9   | 0     | 0    | 0       | 0.00%  | 高31回(昭和51年～54年)  | 445    | 5     | 124   | 316    | 38    | 114,000   | 12.03% |  |  |  |  |  |  |  |
| 中15回(大正4年～9年)       | 75    | 58    | 16  | 1     | 0    | 0       | 0.00%  | 高32回(昭和52年～55年)  | 453    | 12    | 70    | 371    | 60    | 180,000   | 16.17% |  |  |  |  |  |  |  |
| 中16回(大正5年～10年)      | 95    | 89    | 6   | 0     | 0    | 0       | 0.00%  | 高33回(昭和53年～56年)  | 445    | 11    | 86    | 348    | 27    | 81,000    | 7.76%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中17回(大正6年～11年)      | 80    | 73    | 7   | 0     | 0    | 0       | 0.00%  | 高34回(昭和54年～57年)  | 451    | 8     | 61    | 382    | 39    | 117,000   | 10.21% |  |  |  |  |  |  |  |
| 中18回(大正7年～12年)      | 94    | 77    | 16  | 1     | 0    | 0       | 0.00%  | 高35回(昭和55年～58年)  | 455    | 5     | 117   | 333    | 26    | 78,000    | 7.81%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中19回(大正8年～13年)      | 103   | 92    | 11  | 0     | 0    | 0       | 0.00%  | 高36回(昭和56年～59年)  | 445    | 10    | 96    | 339    | 17    | 51,000    | 5.01%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中20回(大正9年～14年)      | 113   | 99    | 14  | 0     | 0    | 0       | 0.00%  | 高37回(昭和57年～60年)  | 403    | 7     | 121   | 275    | 14    | 42,000    | 5.09%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中21回(大正10年～15年)     | 108   | 96    | 11  | 1     | 0    | 0       | 0.00%  | 高38回(昭和58年～61年)  | 454    | 9     | 129   | 316    | 11    | 33,000    | 3.48%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中22回(大正11年～昭和2年)    | 114   | 107   | 6   | 1     | 0    | 0       | 0.00%  | 高39回(昭和59年～62年)  | 465    | 6     | 153   | 306    | 21    | 63,000    | 6.86%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中23回(大正12年～昭和3年)    | 117   | 102   | 15  | 0     | 0    | 0       | 0.00%  | 高40回(昭和60年～63年)  | 455    | 2     | 160   | 293    | 17    | 51,000    | 5.80%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中24回(大正13年～昭和4年)    | 110   | 97    | 12  | 1     | 0    | 0       | 0.00%  | 高41回(昭和61年～平成元年) | 469    | 8     | 108   | 353    | 24    | 72,000    | 6.80%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中25回(大正14年～昭和5年)    | 125   | 108   | 15  | 2     | 0    | 0       | 0.00%  | 高42回(昭和62年～平成2年) | 513    | 3     | 118   | 392    | 15    | 45,000    | 3.83%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中26回(大正15年～昭和6年)    | 109   | 105   | 4   | 0     | 0    | 0       | 0.00%  | 高43回(昭和63年～平成3年) | 477    | 2     | 115   | 360    | 11    | 33,000    | 3.06%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中27回(昭和2年～7年)       | 152   | 146   | 5   | 1     | 0    | 0       | 0.00%  | 高44回(平成元年～4年)    | 514    | 3     | 130   | 381    | 16    | 48,000    | 4.20%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中28回(昭和3年～8年)       | 153   | 140   | 8   | 5     | 0    | 0       | 0.00%  | 高45回(平成2年～5年)    | 457    | 4     | 129   | 324    | 13    | 39,000    | 4.01%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中29回(昭和4年～9年)       | 143   | 125   | 13  | 5     | 0    | 0       | 0.00%  | 高46回(平成3年～6年)    | 442    | 4     | 112   | 326    | 5     | 15,000    | 1.53%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中30回(昭和5年～10年)      | 155   | 132   | 18  | 5     | 0    | 0       | 0.00%  | 高47回(平成4年～7年)    | 439    | 2     | 112   | 325    | 6     | 18,000    | 1.85%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中31回(昭和6年～11年)      | 164   | 143   | 15  | 6     | 0    | 0       | 0.00%  | 高48回(平成5年～8年)    | 427    | 2     | 124   | 301    | 10    | 30,000    | 3.32%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中32回(昭和7年～12年)      | 150   | 134   | 13  | 3     | 0    | 0       | 0.00%  | 高49回(平成6年～9年)    | 414    | 2     | 123   | 289    | 9     | 27,000    | 3.11%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中33回(昭和8年～13年)      | 173   | 153   | 10  | 10    | 0    | 0       | 0.00%  | 高50回(平成7年～10年)   | 398    | 3     | 121   | 274    | 4     | 12,000    | 1.46%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中34回(昭和9年～14年)      | 168   | 144   | 7   | 17    | 2    | 6,000   | 11.76% | 高51回(平成8年～11年)   | 391    | 1     | 110   | 280    | 6     | 18,000    | 2.14%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中35回(昭和10年～15年)     | 162   | 134   | 17  | 11    | 0    | 0       | 0.00%  | 高52回(平成9年～12年)   | 395    | 1     | 104   | 290    | 3     | 9,000     | 1.03%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中36回(昭和11年～16年)     | 175   | 151   | 11  | 13    | 0    | 0       | 0.00%  | 高53回(平成10年～13年)  | 356    | 0     | 96    | 260    | 6     | 18,000    | 2.31%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中37回(昭和12年～17年)     | 177   | 142   | 17  | 18    | 0    | 0       | 0.00%  | 高54回(平成11年～14年)  | 357    | 2     | 97    | 258    | 2     | 6,000     | 0.78%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中38回(昭和13年～18年)     | 184   | 128   | 13  | 43    | 6    | 18,000  | 13.95% | 高55回(平成12年～15年)  | 358    | 0     | 84    | 274    | 2     | 6,000     | 0.73%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中39回(昭和14年～19年)     | 188   | 128   | 18  | 42    | 3    | 9,000   | 7.14%  | 高56回(平成13年～16年)  | 317    | 1     | 82    | 234    | 1     | 3,000     | 0.43%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中40回(昭和15年～20年)5年制  | 197   | 137   | 15  | 45    | 3    | 9,000   | 6.67%  | 高57回(平成14年～17年)  | 395    | 3     | 97    | 295    | 4     | 12,000    | 1.36%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中40回(昭和16年～20年)4年制  | 206   | 137   | 13  | 56    | 1    | 3,000   | 1.79%  | 高58回(平成15年～18年)  | 388    | 1     | 98    | 289    | 2     | 6,000     | 0.69%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中41回(昭和17年～21年)中42回 | 97    | 64    | 16  | 17    | 3    | 9,000   | 17.65% | 高59回(平成16年～19年)  | 318    | 0     | 69    | 249    | 4     | 12,000    | 1.61%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中42回(昭和17年～22年)     | 141   | 89    | 18  | 34    | 2    | 6,000   | 5.88%  | 高60回(平成17年～20年)  | 320    | 0     | 61    | 259    | 2     | 6,000     | 0.77%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中43回(昭和18年～23年)高1回  | 176   | 94    | 32  | 50    | 3    | 9,000   | 6.00%  | 高61回(平成18年～21年)  | 318    | 0     | 56    | 262    | 0     | 0         | 0.00%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 中44回(昭和19年～23年)高2回  | 63    | 29    | 17  | 17    | 2    | 6,000   | 11.76% | 高62回(平成19年～22年)  | 322    | 0     | 60    | 262    | 4     | 12,000    | 1.53%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 併申1回(昭和20年～23年)高3回  | 26    | 0     | 0   | 26    | 0    | 0       | 0.00%  | 高63回(平成20年～23年)  | 315    | 1     | 45    | 269    | 8     | 24,000    | 2.97%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 併申2回(昭和21年～24年)高4回  | 40    | 0     | 0   | 40    | 0    | 0       | 0.00%  | 高64回(平成21年～24年)  | 322    | 0     | 46    | 276    | 1     | 3,000     | 0.36%  |  |  |  |  |  |  |  |
| <b>小計</b>           | 5,060 | 4,093 | 496 | 471   | 25   | 75,000  | 5.31%  | 高65回(平成22年～25年)  | 321    | 0     | 35    | 286    | 4     | 10,000    | 1.40%  |  |  |  |  |  |  |  |
| <b>高等学校</b>         |       |       |     |       |      |         |        | 高66回(平成23年～26年)  | 318    | 0     | 14    | 304    | 11    | 11,000    | 3.62%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 高1回(昭和23年～24年)      | 112   | 65    | 4   | 43    | 2    | 6,000   | 4.65%  | 高67回(平成24年～27年)  | 320    | 0     | 10    | 310    | 10    | 10,000    | 3.23%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 高2回(昭和23年～25年)      | 194   | 96    | 23  | 75    | 13   | 39,000  | 17.33% | 高68回(平成25年～28年)  | 318    | 0     | 9     | 309    | 15    | 15,000    | 4.85%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 高3回(昭和23年～26年)      | 320   | 151   | 42  | 127   | 13   | 39,000  | 10.24% | 高69回(平成26年～29年)  | 320    | 0     | 7     | 313    | 19    | 19,000    | 6.07%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 高4回(昭和24年～27年)      | 347   | 149   | 40  | 158   | 20   | 60,000  | 12.66% | 高70回(平成27年～30年)  | 311    | 0     | 3     | 308    | 20    | 20,000    | 6.49%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 高5回(昭和25年～28年)      | 377   | 152   | 34  | 191   | 23   | 69,000  | 12.04% | 高71回(平成28年～31年)  | 314    | 0     | 0     | 314    | 28    | 28,000    | 8.92%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 高6回(昭和26年～29年)      | 381   | 129   | 51  | 201   | 30   | 93,000  | 14.93% | 高72回(平成29年～令和2年) | 319    | 0     | 0     | 319    | 0     | 0         | 0.00%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 高7回(昭和27年～30年)      | 412   | 139   | 34  | 239   | 25   | 75,000  | 10.46% | <b>小計</b>        | 28,300 | 2,165 | 5,237 | 20,898 | 1,359 | 3,878,000 | 6.50%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 高8回(昭和28年～31年)      | 387   | 118   | 45  | 224   | 30   | 90,000  | 13.39% | <b>一般</b>        |        |       |       |        |       |           |        |  |  |  |  |  |  |  |
| 高9回(昭和29年～32年)      | 401   | 120   | 50  | 231   | 34   | 102,000 | 14.72% | <b>一般団体</b>      | 1      | 0     | 1     | 0      | 1     | 108,328   | 0.00%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 高10回(昭和30年～33年)     | 408   | 110   | 38  | 260   | 38   | 114,000 | 14.62% | <b>小計</b>        | 1      | 0     | 1     | 0      | 1     | 108,328   | 0.00%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 高11回(昭和31年～34年)     | 389   | 105   | 26  | 258   | 42   | 126,000 | 16.28% | <b>合計</b>        | 34,305 | 6,500 | 6,019 | 21,786 | 1,392 | 4,082,328 | 6.39%  |  |  |  |  |  |  |  |
| 高12回(昭和32年～35年)     | 395   | 65    | 39  | 291   | 41   | 123,000 | 14.09% |                  |        |       |       |        |       |           |        |  |  |  |  |  |  |  |
| 高13回(昭和33年～36年)     | 390   | 62    | 34  | 294   | 36   | 108,000 | 12.24% |                  |        |       |       |        |       |           |        |  |  |  |  |  |  |  |
| 高14回(昭和34年～37年)     | 407   | 65    | 56  | 286   | 33   | 99,000  | 11.54% |                  |        |       |       |        |       |           |        |  |  |  |  |  |  |  |
| 高15回(昭和35年～38年)     | 379   | 55    | 53  | 271   | 20   | 60,000  | 7.38%  |                  |        |       |       |        |       |           |        |  |  |  |  |  |  |  |

※終身会費納付者を除く。

※中1回から高71回までは会費の納入をお願いしている卒業回数です。高72回の方々には、ご寄付という形で納入頂いています。

終身会費納入者

**同窓会活動は同窓生の会費で運営されています**

令和元年10月から令和2年9月までの会費納入者と寄付者のみなさん（敬称略）

年会費・寄付金納入者

## 中学からの進学状況

(令和2年5月1日現在)

## 出身中学校別生徒数

| 出身中学  |               | 年 次 |    |    |    |
|-------|---------------|-----|----|----|----|
|       |               | 1年  | 2年 | 3年 | 合計 |
| 小田原市  | 城 山           | 5   | 15 | 11 | 31 |
|       | 白 鶴           | 9   | 5  | 3  | 17 |
|       | 白 山           | 8   | 12 | 23 | 43 |
|       | 城 南           | 5   | 4  | 2  | 11 |
|       | 鴨 宮           | 9   | 7  | 9  | 25 |
|       | 千 代           | 13  | 5  | 10 | 28 |
|       | 国 府 津         | 2   | 2  | 4  | 8  |
|       | 酒 勾           | 6   | 4  | 7  | 17 |
|       | 泉             | 12  | 11 | 6  | 29 |
|       | 橘             | 1   | 1  | 1  | 3  |
| 南足柄市  | 城 北           | 8   | 8  | 5  | 21 |
|       | 南 足 柄         | 7   | 13 | 11 | 31 |
|       | 岡 本           | 7   | 2  | 7  | 16 |
| 足柄上郡  | 足 柄 台         | 5   | 5  | 9  | 19 |
|       | 中 井 町 中 井     | 0   | 4  | 1  | 5  |
|       | 大 井 町 湘 光     | 8   | 12 | 9  | 29 |
| 足柄下郡  | 松 田 町 松 田     | 5   | 5  | 4  | 14 |
|       | 山 北 町 山 北     | 2   | 6  | 2  | 10 |
|       | 開 成 町 文 命     | 11  | 9  | 11 | 31 |
| 伊勢原市  | 箱 根 町 箱 根     | 0   | 4  | 1  | 5  |
|       | 真 鶴 町 真 鶴     | 2   | 6  | 4  | 12 |
|       | 湯 河 原 町 湯 河 原 | 7   | 2  | 9  | 18 |
| 秦野市   | 本 町           | 10  | 7  | 8  | 25 |
|       | 南             | 2   | 5  | 3  | 10 |
|       | 東             | 2   | 1  | 3  | 6  |
|       | 北             | 8   | 2  | 0  | 10 |
|       | 大 根           | 4   | 2  | 3  | 9  |
|       | 西             | 9   | 10 | 10 | 29 |
|       | 南 が 丘         | 5   | 12 | 8  | 25 |
|       | 渋 沢           | 7   | 4  | 3  | 14 |
| 伊勢原市  | 鶴 卷           | 3   | 5  | 8  | 16 |
|       | 山 王           | 8   | 4  | 3  | 15 |
|       | 成 瀬           | 9   | 7  | 8  | 24 |
|       | 伊 势 原         | 5   | 5  | 6  | 16 |
|       | 中 沢           | 2   | 2  | 1  | 5  |
| 平 塚 市 | 江 閏           | 4   | 7  | 1  | 12 |

| 出身中学     |       | 年 次 |    |    |    |
|----------|-------|-----|----|----|----|
|          |       | 1年  | 2年 | 3年 | 合計 |
| 平塚市      | 太 洋   | 2   | 3  | 2  | 7  |
|          | 春 日 野 | 1   | 2  | 0  | 3  |
|          | 浜 岳   | 10  | 6  | 3  | 19 |
|          | 大 野   | 1   | 1  | 1  | 3  |
|          | 土 沢   | 0   | 1  | 0  | 1  |
|          | 金 旭   | 2   | 1  | 2  | 5  |
|          | 中 原   | 1   | 1  | 1  | 3  |
|          | 大 住   | 0   | 2  | 4  | 6  |
|          | 山 城   | 1   | 1  | 0  | 2  |
|          | 神 明   | 2   | 1  | 1  | 4  |
| 中 郡      | 金 目   | 3   | 2  | 1  | 6  |
|          | 旭 陵   | 0   | 1  | 2  | 3  |
|          | 大 磯   | 6   | 9  | 3  | 18 |
| 大 磯 町    | 国 府   | 4   | 1  | 3  | 8  |
|          | 二 宮   | 4   | 10 | 9  | 23 |
| 茅ヶ崎市     | 二 宮 西 | 3   | 2  | 2  | 7  |
|          | 第 一   | 6   | 1  | 4  | 11 |
|          | 鶴 嶺   | 0   | 1  | 2  | 3  |
|          | 松 林   | 1   | 1  | 1  | 3  |
|          | 西 浜   | 2   | 1  | 1  | 4  |
|          | 松 浪   | 4   | 9  | 0  | 13 |
|          | 梅 田   | 0   | 2  | 7  | 9  |
|          | 浜 須 賀 | 2   | 5  | 4  | 11 |
|          | 北 陽   | 3   | 1  | 0  | 4  |
|          | 中 島   | 0   | 1  | 1  | 2  |
| 寒 川 町    | 円 藏   | 1   | 1  | 1  | 3  |
|          | 赤 羽 根 | 4   | 0  | 3  | 7  |
|          | 萩 園   | 2   | 1  | 2  | 5  |
|          | 鶴 が 台 | 1   | 0  | 0  | 1  |
|          | 寒 川   | 1   | 0  | 1  | 2  |
| 鎌倉市      | 旭 が 丘 | 0   | 3  | 3  | 6  |
|          | 寒 川 東 | 1   | 2  | 2  | 5  |
|          | 深 沢   | 1   | 0  | 1  | 1  |
|          | 大 船   | 0   | 0  | 1  | 1  |
|          | 手 広   | 0   | 1  | 1  | 2  |
| 横浜国大附属鎌倉 |       | 1   | 1  | 0  | 2  |

| 出身中学  |       | 年 次 |     |     |     |
|-------|-------|-----|-----|-----|-----|
|       |       | 1年  | 2年  | 3年  | 合計  |
| 藤 沢 市 | 明 治   | 5   | 0   | 0   | 5   |
|       | 鶴 沼   | 2   | 1   | 1   | 4   |
|       | 片 瀬   | 1   | 2   | 1   | 4   |
|       | 湘 洋   | 0   | 2   | 0   | 2   |
|       | 藤 ケ 岡 | 2   | 0   | 1   | 3   |
|       | 善 行   | 0   | 1   | 1   | 2   |
|       | 高 浜   | 1   | 0   | 2   | 3   |
|       | 大 庭   | 3   | 0   | 0   | 3   |
|       | 湘 南 台 | 1   | 0   | 0   | 1   |
|       | 村 岡   | 0   | 2   | 0   | 2   |
| 厚 木 市 | 高 倉   | 0   | 0   | 1   | 1   |
|       | 滝 の 沢 | 0   | 2   | 0   | 2   |
|       | 大 清 水 | 1   | 0   | 1   | 2   |
|       | 羽 鳥   | 3   | 1   | 2   | 6   |
|       | 厚 木   | 3   | 0   | 2   | 5   |
|       | 睦 合   | 0   | 1   | 0   | 1   |
|       | 小 鮎   | 0   | 1   | 1   | 2   |
|       | 玉 川   | 3   | 1   | 2   | 6   |
|       | 南 毛 利 | 3   | 3   | 3   | 9   |
|       | 東 名   | 2   | 1   | 2   | 5   |
| 海老名市  | 林     | 1   | 0   | 0   | 1   |
|       | 森 の 里 | 0   | 3   | 1   | 4   |
|       | 睦 合 東 | 0   | 0   | 1   | 1   |
|       | 相 川   | 0   | 1   | 3   | 4   |
|       | 荻 野   | 2   | 0   | 0   | 2   |
| 座 間 市 | 海 老 名 | 1   | 0   | 0   | 1   |
|       | 柏 ケ 谷 | 0   | 1   | 0   | 1   |
|       | 大 谷   | 0   | 1   | 0   | 1   |
| 相模原市  | 栗 原   | 1   | 0   | 4   | 5   |
|       | 相 原   | 0   | 0   | 1   | 1   |
|       | 希望が丘  | 0   | 1   | 0   | 1   |
| 横浜市   | 豊 田   | 0   | 1   | 0   | 1   |
|       | 本 郷   | 1   | 0   | 0   | 1   |
|       | 領 家   | 0   | 0   | 1   | 1   |
|       | その 他  | 3   | 2   | 3   | 8   |
| 合 計   |       | 319 | 318 | 317 | 954 |

ありがとうございました。  
(敬称略)

## 同窓会へのご寄付

### 令和元年度 入試結果と進路状況

(令和2年4月13日現在)

#### 大学別合格者数

##### 【国立大学】

合格者合計65名  
(現役生51名、既卒生14名)

| 大学名    | 合計 | 内 現役 |
|--------|----|------|
| 北海道    | 6  | 4    |
| 弘前     | 1  | 1    |
| 東北     | 4  | 2    |
| 秋田     | 0  | 0    |
| 山形     | 0  | 0    |
| 筑波     | 3  | 3    |
| 宇都宮    | 0  | 0    |
| 群馬     | 0  | 0    |
| 埼玉     | 0  | 0    |
| 千葉     | 1  | 1    |
| お茶の水女子 | 0  | 0    |
| 電気通信   | 2  | 1    |
| 東京     | 0  | 0    |
| 東京海洋   | 0  | 0    |
| 東京外国语  | 1  | 1    |
| 東京学芸   | 4  | 4    |
| 東京芸術   | 0  | 0    |
| 東京工業   | 3  | 3    |
| 東京農工   | 3  | 2    |
| 一橋     | 2  | 2    |
| 横浜国立   | 9  | 9    |
| 新潟     | 0  | 0    |
| 富山     | 1  | 1    |
| 金沢     | 1  | 1    |
| 福井     | 0  | 0    |
| 山梨     | 0  | 0    |
| 信州     | 5  | 5    |
| 静岡     | 7  | 7    |
| 浜松医科   | 1  | 0    |
| 名古屋    | 4  | 2    |
| 京都工芸繊維 | 0  | 0    |
| 大阪     | 4  | 1    |
| 神戸     | 1  | 0    |
| 奈良女子   | 0  | 0    |
| 広島     | 0  | 0    |
| 高知     | 0  | 0    |
| 九州     | 1  | 0    |
| 長崎     | 1  | 1    |
| 宮崎     | 0  | 0    |

#### 【公立大学】

合格者合計25名  
(現役生24名、既卒生1名)

| 大学名       | 合計 | 内 現役 |
|-----------|----|------|
| 秋田県立      | 0  | 0    |
| 国際教養      | 3  | 3    |
| 会津        | 0  | 0    |
| 福島県立医科    | 0  | 0    |
| 高崎経済      | 0  | 0    |
| 東京都立      | 6  | 6    |
| 神奈川県立保健福祉 | 3  | 3    |
| 横浜市立      | 5  | 5    |
| 都留文科      | 0  | 0    |
| 静岡県立      | 4  | 4    |
| 静岡文化芸術    | 1  | 0    |
| 滋賀県立      | 0  | 0    |
| 大阪市立      | 0  | 0    |
| 大阪府立      | 0  | 0    |
| 奈良県立      | 1  | 1    |
| 島根県立      | 1  | 1    |
| 広島市立      | 1  | 1    |

#### 【私立大学】

合格者合計882名  
(現役生748名、既卒生134名)

| 大学名    | 合計 | 内 現役 |
|--------|----|------|
| 酪農学園   | 1  | 1    |
| 国際医療福祉 | 7  | 5    |
| 城西     | 0  | 0    |
| 獨協     | 0  | 0    |
| 文教     | 2  | 2    |
| 江戸川    | 1  | 1    |
| 青山学院   | 30 | 26   |
| 亜細亜    | 0  | 0    |
| 跡見学園女子 | 0  | 0    |
| 桜美林    | 11 | 11   |
| 大妻女子   | 5  | 5    |
| 学習院    | 8  | 8    |
| 学習院女子  | 1  | 1    |
| 共立女子   | 2  | 2    |
| 杏林     | 3  | 3    |
| 北里     | 18 | 17   |
| 慶應義塾   | 15 | 11   |
| 工学院    | 6  | 5    |
| 国學院    | 11 | 8    |
| 国際基督教  | 0  | 0    |
| 国士館    | 4  | 4    |
| 駒澤     | 14 | 10   |
| 駒沢女子   | 1  | 0    |
| 産業能率   | 2  | 2    |
| 昭和     | 2  | 1    |

#### 大学名 合計 内 現役

| 大学名       | 合計 | 内 現役 |
|-----------|----|------|
| 明治学院      | 15 | 12   |
| 明治薬科      | 0  | 0    |
| 明星        | 7  | 7    |
| 立正        | 24 | 20   |
| 和光        | 0  | 0    |
| 早稲田       | 29 | 24   |
| 麻布        | 2  | 2    |
| 神奈川       | 37 | 31   |
| 神奈川工科     | 6  | 4    |
| 鎌倉女子      | 0  | 0    |
| 関東学院      | 6  | 6    |
| 相模女子      | 4  | 4    |
| 松蔭        | 1  | 1    |
| 湘南医療      | 1  | 1    |
| 湘南工科      | 2  | 0    |
| 桐蔭横浜      | 0  | 0    |
| 東洋英和女学院   | 1  | 1    |
| フェリス女学院   | 2  | 1    |
| 横浜創英      | 0  | 0    |
| 横浜薬科      | 5  | 5    |
| 金沢工業      | 1  | 1    |
| 愛知医科      | 0  | 0    |
| 中京        | 2  | 2    |
| 名古屋造形     | 1  | 1    |
| 名城        | 1  | 0    |
| 長浜バイオ     | 0  | 0    |
| 京都芸術      | 1  | 0    |
| 京都産業      | 1  | 0    |
| 京都精華      | 0  | 0    |
| 同志社       | 2  | 1    |
| 立命館       | 9  | 5    |
| 関西学院      | 0  | 0    |
| 岡山理科      | 0  | 0    |
| 立命館アジア太平洋 | 5  | 3    |
| 東京国際工科専門職 | 1  | 1    |

#### 校種別の進路

|          | 男子  | 女子  | 合計  |
|----------|-----|-----|-----|
| 4年制大学    | 119 | 131 | 250 |
| 短期大学     | 0   | 0   | 0   |
| 専門学校等    | 1   | 2   | 3   |
| 就職       | 1   | 0   | 1   |
| 進学準備・その他 | 50  | 16  | 66  |
| 合計       | 171 | 149 | 320 |



# 新型コロナウィルス感染症

※本稿は、執筆中の百二十年史の原稿を会報用にまとめたものです。

## 一斉臨時休業

2日に予定していた弦楽部第12回定期演奏会も中止した。

本校はホームページと携帯電話

県教育委員会は令和2年2月26日、新型コロナウイルス感染まん延防止の取組方針を通知し、不要不急の行事は原則延期、延期が不可能な場合は中止また代替手段への切り替え、それらが不可能な場合は規模の縮小等を検討することとした。具体的には、卒業式・入学式は出席者を生徒に限るなど規模を縮小して実施し、合格発表・入学手続きは時間を短縮して実施するなどとした。

翌27日、安倍首相が新型コロナウイルス感染拡大を防止するため、3月2日（月）から春休みまで全国の小学校・中学校・高校・特別支援学校を臨時休校とするよう要請した。県教育委員会は翌28日（金）、全県立学校を3月2日（月）から春季休業の開始日まで臨時休業とし、部活動・練習試合等を実施しないこととした。本校は、28日（金）は後期期末試験の第3日を実施し、3月2日（月）は後期期末試験の第4日であったが臨時休業を開始した。合格者オリエンテーションは、3月16日に予定していたが中止した。3月17日に小田原市民会館で予定していた合唱コンクール、3月26日に予定していた吹奏楽部第27回定期演奏会、4月

月に予定していた弦楽部第12回定期演奏会も中止した。

本校はホームページと携帯電話

メール連絡網である「まち.com」を利用し、生徒・保護者へさまざま連絡を行った。3月4日には外出を控え、健康状態を観察することを伝え、各教科・科目の学習課題について1・2年次ごとに詳細な指示をした。

卒業式を7日（土）に実施した。出席者は3年次生、「在校生のことば」を読む2年次代表1名（生徒会長）、教職員のみに限り、来賓と保護者はご遠慮いただいた。式場の椅子は間隔を広く取り、校歌と螢の光の斎唱は1番のみとし、演奏は吹奏楽部ではなくCDを使用し、卒業証書授与は一人ひとり呼名した。

県教育委員会は3月11日、臨時休業が長期に及ぶため、終業式の日を

入学式は予定どおり4月7日に実施した。出席者は新入生、教職員のみに限り、来賓と保護者はご遠慮いたしました。

Google Classroom（グーグルクラスルーム）のスマートホンの設定、心の悩みなどの個別相談に応えた。

連絡を行うこととした。部活動・練習試合等は3月31日まで実施しないこととしたが、その後23日に春季休業期間中は実施しないこととした。

本校は、生徒へ後期期末試験を実施できなかつた科目の評価方法を示し、課題に取組めるように3月16日（月）～19日（木）にクラスごとの日時を指定し、登校してロッカーや教室の机の中の私物を持ち帰ることを指示した。3月26日を登校日とし、1年次は10時、2年次は13時に各集合場所に登校し、終業式・離任式を放送で行い、通知表等を配付した。

宿泊オリエンテーションを中止した。年次の各教科がホームページに課題一覧表を掲載してきたが、16日に2年次が各科目の課題を郵送したり、全年次の各教科がGoogle Classroomを利用して授業動画やや課題一覧表を掲載してきたが、16日に2年次が各科目の課題を郵送したり、全年次の各教科がGoogle Classroomを利用して授業動画や課題を掲載したりした。16日の夜、安倍首相が緊急事態宣言を7都府県から全国へ拡大した。本校は在宅勤務を進めるとともに、職員会議を体操館で入学式のまま間隔を広く取った椅子を利用して行うなど、感染防止に努めた。



教室でマスクを着用する入学生たち

## 緊急事態宣言に伴う 休業の長期化

県教育委員会は3月30日、全県立学校を春季休業終了日の翌日から2週間程度臨時休業とし、4月6日と13日の週に学年別の登校日を設けて学習課題を課すなどの指導を行うこととした。本校は各週に年次ごとの登校日を設定し、4月8日に予定していた新入生歓迎会を中止した。

この日の晩、安倍首相が本県を含む7都府県に5月6日まで緊急事態宣言を発令した。翌4月8日、県教育委員会は臨時休業を5月6日まで延期し、登校日を中止とし、教職員の在宅勤務を推進することとした。本校は8日以降の登校日を中止したが、年次ごとの個別相談日を設けた。生徒は事前に電話して9時30分～15時30分に登校し、教員が学習課題や難解なレベルの質問、進路、

東大会を中止し、さらに全国高校体育連盟も26日に全国高校総合体育大会（インターハイ）を中止した。林校長（高31）はホームページで3年次生を次のように励ました。

「3年生の落胆ぶりは察して余りがあります。高校生活の集大成としてきた大会が、勝ち負け以前に実施されないという事態に、私たち教職員も大変残念なりません。高校3年の夏は一度きり、痛恨の極みであります。3年生の皆さん、気持ちを切

り替えて、新たな目標にエネルギーを注いでください。「堅忍不拔」の精神こそが小田高生のプライドです。』

県教育委員会は4月30日、臨時休業を5月8日まで延期する方針を示し、本校は5月に予定していた前期中間試験と6月に予定していた小田高祭を中止した。小田高祭の中止は昭和24年の開催以来、初めてのことであった。

学校の段階的再開

安倍首相は5月14日、緊急事態宣言を東京や大阪を除く39県で解除し5月21日には関西3府県で解除した。県教育委員会は5月31日で緊急事態宣言が解除され、6月1日に県立学校を再開する場合に備え、5月22日に「県立学校の教育活動の再開等に関するガイドライン」を取りまとめた。準備期間、分散登校、時差通学、短縮授業の段階を経ながら、徐々に通常登校に移行していくこととした。安倍首相が5月25日、緊急事態宣

言を全国で解除し、本県の県立学校は6月1日（月）から再開することとなつた。本校では、これまでどおりの学校生活を送るにはまだ時間がかかり、再開に向けて生徒たちにさまざまな不安があることを考え、教員・生徒が一丸となつてこの状況を乗り越えていこう！』という思いを込めて、体育の先生方が中心になつてグラウンドに「君たちを信じる!! 堅忍不抜」と大きく描いた。

なところです。でも、まなきやているはても、月こしたら、か？前目標」に（月）から始まり、2つに分割されていたクラスがようやく1つになつた。授業は引き続き30分×5時間の短縮授業を行つた。時差通学・短縮授業Ⅱが7月6日（月）から始まりようやく昼休みが再開した。授業は50分×5時間の短縮授業を行つた。県教育委員会は7月9日、県内の頑張って感染状況が増加傾向となつてゐるこ

なところです。でも、まなきやているは、月でも、月こしたら、か？前目標」に努力して、17名の頑張って短縮授業を行った。（月）から始まり、2つに分割されていたクラスがようやく1つになつた。授業は引き続き30分×5時間の短縮授業を行つた。時差通学・短縮授業Ⅱが7月6日（月）から始まりようやく昼休みが再開した。授業は50分×5時間の短縮授業を行つた。県教育委員会は7月9日、県内の感染状況が増加傾向となつてゐることを踏まえ、7月13日（月）からの通常登校は、始業を30分程度繰り下げる時差通学と組み合わせることとした。本校は始業を9時とし、65分×5時間の通常授業を再開した。小田高祭が中止となつたので、3年次の先生方が、最後に学年全体で一つの作品を作り、次のステップへの一押しになればと考えた。「3年

次の想いをつなげよう」という企画として、太陽(夢や目標)に向かって大きく咲く花「向日葵」を作成した。このデザインにしたのは、「行事や部活動など、みんなの努力が花開く機会がなくなってしまったけれどももう一つ、花を咲かせられる機会があります。それは進路です。一人ひとりが自分の目標に向かってしっかりと根を伸ばし、目標達成という大輪の花を咲かせてほしい」との願いからである。6月30日のLHRで3年次生全員317名が折り紙が折り、文化祭クラス代表の生徒がつなげる作業を行い、7月14日にエントランスホールに飾った。

描き、生徒一人ひとりがメッセージをカードに書いて貼りつけた。

本校は7月のスポーツ大会を中心とし、前期期末試験を7月27日から30日に実施した。夏季休業は学習の遅れを取り戻すため短縮し、8月7日から19日までの13日間とし、夏期講習を8月11日から21日に実施した。本校は8月25日から通常登校・通常授業を開始し、S.H.Rを8時40分として65分×5時間授業を行った。県教育委員会は翌26日、8月31日(月)以降は時差通学の時間帯を拡大して継続し、概ね8時30分以降に授業開始時刻を設定することとした。本校は、県西地区の公共交通機関の混雑状況など、さまざまな視点から検討した結果、すでに実施している通常登校・通常授業を継続した。

### 3年次生の思い

「剣道部には引退を控えた3年生

が自分を含め4人いました。高校最

後の公式戦中止の報道を知って、最

初はあまり実感が湧きませんでした。

その後、顧問の山本茂先生(高

29)からの連絡により、初めて「あ、本当にこれで終わりになっちゃったんだ」とじわじわ心に響いてきました。今まで当たり前だったことが、当たり前なくなる。いつの間にか自分は、毎日欠かさず行っていた

自主トレーニングをしなくなっています。

山本先生から小田高、二宮高校、伊勢原高校の三校交流試合が7月19日、平塚総合体育館の武道館で開催されるという話があったのは、授業が再開して少し経った頃でした。目

指すところを失つて宙ぶらりんのままでいた自分たちにとって、本当に嬉しかったです。

それから交流試合までの2週間は、今まで剣道をやつてきた中で一番楽しい時間でした。部活動自粛期間中に剣道ができなかつた時間を取り戻すように、がむしゃらに仲間と稽古ができるのを噛みしめました。公

式戦が中止になり、もちろん悲しかつたし悔しかつたし、やりきれない

多くの優しさやあたたかさを感じて今自分が思うことは、自分の

後輩たちが自らではどうすることもできない状況に立たされたとき、すぐ行動に移して「楽しい」高校生活を守る手助けができる先輩になります。

い想いは当然あります。けれど、隣に仲間がいて、先生がいて、竹刀を一回振ることにその悲しみや不安が薄れていくことを感じたとき、自分は剣道部が大好きなんだと改めて思いました。

交流試合は、山本先生を中心となつて各高校の顧問の先生方が企画・開催してくださいました。小田高剣道部出身でカメラマンの杉能信介(高51)さんが遠くから駆けつけて、写真を撮つてくださいました。

また審判として多くの先輩方が来てくださいました。その他にもたくさんの方々の優しさやあたたかさを

感じて今まで大きな被害が出る

ことは思つていなかつた。学

校行事だけ見ても、先輩の卒業式に参加できなかつた

り、小田高祭がなくなつた

りと、私たち3年生に大きな影響を与えた。部活動でも多くの大会がなくなり、大勢の3年生が公式戦や発表の場がないまま引退となつてしまつた。その中で幸運なことに、サッカー部は9月の後半に大会が延期となつた。

しかし、これに対して私は不安になつた。3年生部員が残らないのではないかと思ったからである。他の部活動で3年生が引退している中で、9月の後半まで残るということは、それだけ受験に出遅れてしまうことになる。また、休校期間に多くの3年生部員が志望校に向けて受験勉強へ切り替え始めていた。

いざ学校が始まると、校内の雰囲気は活発なものであった。しかし、

3年生たちは受験に切り替えており、

部員がサッカー自体をやりたいといふこともあつたが、みんなが残るといふことを大切にしてきた。私も今

うことを意識させられた出来事であった。

これにより、最後の大会に向けて

部員全員で挑めることに感謝しながら、大会の結果と受験勉強の両立を

目指し、より一層挑戦していきたい

と思う。』



# 体 育 祭

10月15日、曇り、学校全体で待ち望んでいた体育祭が開催された。開会式では、林校長先生が「今年の体育祭は、学校全体で取り組む行事としては、今年度、最初で最後になります。3年生、2年生、1年生の縦のつながりをしっかりと感じ取って欲しい。」と挨拶。

続いて、生徒会の実行委員長から、「小田高の120年の歴史の中で、コロナ禍という誰も経験していない1年となっている。今年の体育祭が120年間で1番の盛り上がりとなるよう頑張りましょう。」と宣言のもと競技が始まった。



## 競技スケジュール

| 開始予定  | 競 技       | 参加学年       |
|-------|-----------|------------|
| 8:40  | 受付、開会式    |            |
| 9:05  | 二人三脚リレー   | 1年次全員      |
| 9:20  | 部活対抗リレー   | 参加希望部      |
| 9:55  | 団対抗リレー予選  | 全学年男女代表    |
| 10:25 | ムカデリレー予選  | 2年次全員      |
| 10:50 | 大縄跳び      | 全学年男女代表    |
| 11:10 | フォークダンス   |            |
| 11:40 | 応援合戦      | 1・2年次全員    |
| 12:40 | 昼食        |            |
| 13:35 | 綱引き       | 全学年男女代表    |
| 13:55 | 槍取り合戦（女子） | 全学年女子代表    |
| 14:15 | 槍取り合戦（男子） | 全学年男子代表    |
| 14:45 | ハリケーン     | 3年次男女代表    |
| 15:10 | ムカデリレー決勝  | 2年次予選通過チーム |
| 15:20 | 団対抗リレー予選  | 全学年予選通過チーム |
| 15:40 | 閉会式       |            |



団体競技では、息をあわせて。リレー競技では、それぞれが全力で。はじける若さに、45年前の自分を思い出し、なんだか体が熱くなってきた。

フォークダンスでは、手袋着用。これも見慣れない姿だったが、パートナーが女性だ。私たちの時代は、男性だった。しかも曲目がザンオールスターズ。想像もつかなかった。PTAが売店を出している。驚くことばかり。途中、雨で1時間の中止があり、競技が一部中止に。

閉会のことばでは、全生徒の参加が叶わなかつたことへの想いが募り、涙で言葉につまる。本部席でも涙を浮かべる先生の姿が。コロナ禍を経験し、ウィズコロナの中で躍動する生徒たちの姿に、頼もしさを感じ、若さと感動と驚きをもらった1日だった。

原田（高27）撮影 新保（高21）

## 部活動の記録（令和元年後期～令和2年前期）





## 第32号

神奈川県立小田原高等学校  
同窓会 横友会連絡先  
電話・FAX 0465-20-3281  
メールアドレス  
kenyukai@odako.org  
私書箱 〒250-8691  
日本郵便㈱小田原郵便局  
私書箱15号  
県立小田原高等学校同窓会  
ホームページ <https://odako.org>



令和2年度 入学式



令和元年度 卒業式



2020体育祭



小田原高校同窓会 横友会ホームページを  
ご活用ください

小田原高校同窓会

検索



◀携帯・スマホから  
住所変更等を連絡できます

メールは [kenyukai@odako.org](mailto:kenyukai@odako.org)

同期会、地域・職域同窓会、部OB会などの開催案内をホームページに掲載し、広く参加を呼びかけることができます。

ホームページミーティングの開催の様子をはじめ、同窓会の活動や小田高の写真をご覧になれます。

ホームページから同窓会に住所変更を連絡したり、各種問い合わせをすることができます。

「八幡山」の原稿も募集中です。会費納入もお忘れなく!!